

# 社会福祉法人むつみ福祉会

## 平成 29 年度 事 業 報 告

平成30年5月29日 第171回 理事会 承認  
平成30年6月13日 第102回 評議員会 承認

# 法人基調報告

## 1 はじめに

4月に事業を開始した精神障害者地域活動支援事業の「あかもん」を加え、平成29年度は9事業の運営となった。

利用者に対するサービスという観点では、職員個々がそれぞれの役割を全うし、安心で安全な環境提供を最優先しながら利用者支援ができていたと評価できる。

一方、私的事由ではあるが懲戒解雇処分相当の職員の不祥事や要職者の突然の退職表明に伴う混乱などの出来事があった。いずれの問題も所轄庁をはじめとする外部への報告が必至の事項となり、一部の問題は総括を要請されるなどの慌ただしさであった。

## 2 平成29年度の主な動き

### (1)法人本部事務局の立ち上げ準備

改正社会福祉法により、定款をはじめ、役員・評議員の役割やあり方などが大きく変更された昨年度は、上半期に役員の改選に伴う理事長の交代、評議員の改選があった。

下半期は30年4月開設に向け「法人本部事務局」の立ち上げ準備を急ピッチで進めた。

9事業150名超の職員を抱える法人に成長し、事業所を統括できる部署が必要になったこと、新たな拠点作りなど、これからの中社会福祉法人が求められる役割と期待に応えるための検討部署が必要であったことなどが大きな理由であった。結果、むつみグリーンハウス館内を一部改修し「法人本部事務局」とすることになった。

### (2)賞罰委員会

むつみグリーンハウスにおいて、私的事由ではあるが懲戒解雇処分相当の職員の不祥事があった。就業規則に則り、賞罰委員会を開催して懲戒解雇処分相当の提案をし、その後の理事会において懲戒処分を決定した。

### (3)ティンクルの虐待通報

ティンクルなごやの職員によるケア方法について、北区役所に虐待が疑われるという旨の通報があった。通報者は職員内部の者と思われる。関係当局の担当者、所属長などが当該職員への聞き取り、検証等を行なった結果、虐待を特定する事実はなかったと判断し報告を行なった。一方で虐待を疑われた職員の介護技術の未熟さが疑われた要因であったこと、現場内部で問題解決をする職場環境づくりが急務であること再認識することとなった。

### (4)ティンクルなごやの院長・療育部長の突然の退職表明について

2月下旬に、ティンクルなごやの院長、療育部長が突然に退職表明をするという出来事があった。退職の理由について、院長は「一部理事の院長権限を排斥する行為」を理由に挙げているが、この内容をめぐって法人内外に大きな影響を及ぼすこととなった。この件については関係当局より「総括」を求められており、来年度に持ち越し案件として検討される予定である。

### 3 事業の実施状況

#### (1) 第一種社会福祉事業

##### ① 医療型障害児入所施設

「名古屋市重症心身障害児者施設 ティンクルなごや」(定員 90 名)

\* 名古屋市北区平手町一丁目 1-5

#### (2) 第二種社会福祉事業

##### ① 生活介護

「むつみグリーンハウス」(定員 60 名)

##### ② 居宅介護、重度訪問介護、同行援護及び行動援護

「なごみ居宅サポートセンター」

##### ③ 移動支援

「なごみ移動サポートセンター」

##### ④ 計画相談支援、障害児相談支援

「障害者相談センター一步」

\* 以上 4 事業は、名古屋市中区古渡町 9-18

##### ⑤ 療養介護

「名古屋市重症心身障害児者施設」(定員 90 名)

##### ⑥ 短期入所

「名古屋市重症心身障害児者施設」(定員 90 名)

\* 以上 2 事業は、名古屋市北区平手町一丁目 1-5

##### ⑦ 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援及び地域定着支援

「名古屋市中区障害者基幹相談支援センター」

##### ⑧ 精神障害者地域活動支援事業

「あかもん」

\* 以上 2 事業は、名古屋市中区大須四丁目 10-85

### 4 理事会の運営状況

- (1) 平成 29 年 6 月に改選を行ない、その後平成 30 年 3 月に改選した。いずれの改選も改正社会福祉法への対応や人事異動に伴うものである。
- (2) 本期の任期は、法改正により平成 31 年 4 月 1 日以降の最初の定時評議員会終結の時まで。
- (3) 平成 29 年 6 月の改選で、理事長には富田理事が互選され就任した。なお、野瀬理事は理事長職を退き、顧問に就任した。

(4)理事及び監事（理事 10 名、監事 2 名 敬称略）(\*平成 30 年 3 月までの動向)

役 職	氏 名	主な所属先・職業など	任 期	就任/退任など
顧問	野瀬武敬	全国指定都市子ども会連合会長	平成 31 年 4 月 1 日以降の最初の定時評議員会終結の時まで	6 月 13 日就任
理事長	富田偉津男	税理士	同上	6 月 13 日就任
理 事	松田昌久	愛知県重症心身障害児(者)を守る会 会長	同上	6 月 12 日重任
理 事	☆水谷正人	専務理事(業務執行理事)	同上	6 月 13 日就任
理 事	原山剛三	弁護士	同上	6 月 12 日重任
理 事	山田正人	名古屋市重症心身障害児者施設 診療部長	同上	6 月 12 日重任
理 事	磯部育義	金山橋連合商店街振興組合理事長	同上	6 月 12 日重任
理 事	★木村智明	正木学区区政協力委員長	同上	3 月 22 日退任
理 事	★二村眞秀	名古屋市重症心身障害児者施設 院長	同上	3 月 31 日退任
理 事	★牧坂浩之	むつみグリーンハウス 施設長	同上	3 月 31 日退任
理 事	★柴田詩子	中区障害者基幹相談支援センターセンター長	同上	3 月 22 日退任
理 事	☆伊藤葉子	大学福祉系学部准教授	同上	3 月 22 日就任
理 事	☆高嶋みえ	愛知県重症心身障害児(者)を守る会 役員	同上	3 月 22 日就任
理 事	☆杉野考利	むつみグリーンハウス 施設長	同上	4 月 1 日就任予定
監 事	尾崎秀明	税理士	同上	6 月 12 日重任
監 事	熊崎正実	福祉専門学校校長	同上	6 月 12 日重任

【補足】 ☆が新任者(予定者を含む)で★が退任者で。なお、欠員 1 名は 30 年度当初の評議員会において承認後に就任予定。

(5)理事会の開催状況

163 回	H29.5.10(水)	17:00～17:20	1. 新評議員候補者の推薦について
164 回	H29.5.23(火)	18:00～19:45	1. 社会福祉法人むつみ福祉会事業報告(案)について 2. 社会福祉法人むつみ福祉会決算報告について 3. 新役員の提案について 4. 顧問就任について 5. 諸規程等の承認について 6. 中区拠点事業所給与規程昇給基準表の追加について 7. 名古屋市重症心身障害児者施設院内保育室「ティンクルなごやリトルスター保育室」29 年度委託契約の締結について 8. 定時評議員会の招集決定について
165 回	H29.6.13(火)	18:00～19:05	1. 社会福祉法人むつみ福祉会理事長の選定、並びに業務執行理事の選定について 2. 社会福祉法人むつみ福祉会役員等報酬規程の変更について

			3. 理事長の互選(予選)並びに理事長の職務代理の指名について 4. 育児・介護休業等に関する規則の変更について 5. ティンクルなごや就業規則、臨時職員就業規則の改定について 6. ティンクルなごやの託児施設開設準備について
166回	H29.9.26(火)	14:00~15:05	1. 社会福祉法人むつみ福祉会補正予算(案)について
167回	H29.12.4(月)	省略	1. 社会福祉法人むつみ福祉会賞罰委員会での処分審議結果の承認について
168回	H29.12.21(木)	18:00~	1. 経理規程の改正について 2. 職務権限規程(決裁・専決事項一覧)の改正について 3. 社会福祉法人むつみ福祉会育児・介護休業等に関する規則の改正について
169回	H30.3.19(月)	14:00~16:10	1. 第2次補正後資金収支予算(案)内訳表について 2. 平成30年度事業計画(案)について 3. 平成30年度予算(案)について 4. 社会福祉法人むつみ福祉会定款変更について 5. 各種規程の変更について 6. 理事の変更について

## 5 評議員会の運営状況

- (1)平成29年4月1日付で全員が就任。その後、中区社会福祉協議会の事務局長が4月1日付人事異動で交代になったことを受け、評議員も交代する手続きをとった。  
 (2)任期は、法改正により平成33年4月1日以降の最初の定期評議員会終結の時まで。  
 (3)改正社会福祉法により要件や定員が見直されたため、定員が大幅に減少(21名から12名)となった。

(4)評議員(12名 敬称略)(\*平成30年3月までの動向)

役職	氏名	主な所属先・職業など	任期	就任/退任など
評議員	福村真紀子	元学校法人事務長	平成33年4月1日以降の最初の定期評議員会終結の時まで	4月1日重任
評議員	松島清子	地域、元正木女性会会長	同上	4月1日重任
評議員	野村敬子	短期大学准教授	同上	4月1日重任
評議員	加藤和雄	中区子ども会連合会副会長	同上	4月1日重任
評議員	丸山秀樹	地域、福祉事業経営者	同上	4月1日重任
評議員	西澤有子	地域、正木学区主任児童委員	同上	4月1日重任
評議員	浅井清正	地域、総務省行政相談員	同上	4月1日重任
評議員	戎弘志	福祉専門学校・大学教員	同上	4月1日重任
評議員	田中巖	地域、元民生・児童委員	同上	4月1日重任
評議員	☆立松博	名古屋市社会福祉協議会事務局長	同上	4月1日就任

評議員	☆谷江武士	大学院教授	同上	4月1日就任
評議員	☆平賀貴光	中区社会福祉協議会事務局長	同上	5月23日就任
評議員	★尾関智	元 中区社会福祉協議会事務局長		5月23日退任

【補足】 ☆が新任者で★が退任者。

#### (5)評議員会の開催状況

98回	H29.6.12(月)	18:00~19:45	1. 平成28年度社会福祉法人むつみ福祉会事業報告 (案)について 2. 平成28年度社会福祉法人むつみ福祉会決算報告について 3. 新役員の提案について 4. 顧問就任について 5. 諸規程等(コンプライアンス規程、理事会運営規程、評議員会運営規程、監事監査規程、職務権限規程、資産運用規程、法人理事長印・出納印規程、法人事務局会議運営規程、理事長・理事並びに監事・評議員報酬規程、内部管理体制の基本方針)の承認について 6. 中区拠点事業所給与規程 异給基準表の追加について 7. 名古屋市重症心身障害児者施設院内保育室「ティンクルなごやリトルスター保育室」平成29年度委託契約の締結について
99回	H29.7.31(月)	省略	1. 社会福祉法人むつみ福祉会役員等報酬規程の変更について
100回	H29.10.3(火)	18:00~19:20	1. 社会福祉法人むつみ福祉会補正予算(案)について
101回	H30.3.22(木)	18:00~19:40	1. 平成29年度第2次補正予算(案)について 2. 平成30年度事業計画について 3. 平成30年度予算(案)について 4. 理事の変更について 5. 平成29年度事業報告について

## 【生活介護事業所 むつみグリーンハウス】

### 1、総論

「どんな重度障害者にも自立がある」「どんな重度障害者も成長し続ける自立がある」「地域生活支援のあり方を追求する」を支援のスタンスとして、日中活動型(2F)・作業型(3F)それぞれの取り組みを計画・実践した。利用者のニーズをしっかりと把握した上で実践できるよう、家族や利用者の面談、個別支援計画の見直しを計画的に行なうことができた。

生活介護事業は、利用者の利用日数が生活介護事業の収入に直結する。そのため、昨年度に引き続き、長期休みの利用者や休みがちの利用者への声かけや訪問支援を積極的に行なうなど、利用率維持の工夫をした。また、受け入れの余裕があらかじめ判る時や利用者から新たな利用希望がある時などは、できるだけ期待に応えられるよう心掛けた。

結果、退所する利用者が5名いたものの、通所している利用者の利用日を増やしたり退所者が年度末であったことから年間の利用人数も大きな減少にまでは至らなかった。

日中活動型(2F)は1日平均利用人数(土曜開所を除く)17.9名、作業型(3F)は1日平均利用人数(土曜開所を除く)25.4名であった。日中活動型(2F)は定員20人に近い利用率となり、作業型(3F)は定員40人に対してまだ余裕がある結果となった。

\*平成29年度の登録者数と利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数		69	68	68	68	68	68
開所日数(土曜日)		22(2)	23(3)	22(0)	23(3)	22(1)	22(2)
1日の平均利用人数		43.0人	41.3人	44.7人	39.9人	39.0人	42.3人
内訳	2F 平日延べ人数(平均)	374(18.7)	376(18.8)	413(18.8)	370(18.5)	353(16.8)	359(18.0)
	3F 平日延べ人数(平均)	537(26.8)	528(26.4)	571(26.0)	502(25.1)	492(23.4)	543(27.2)
	2F 土曜延べ人数(平均)	20(10.0)	22(7.3)	0	19(6.3)	6(6.0)	18(9.0)
	3F 土曜延べ人数(平均)	15(7.5)	25(8.3)	0	26(8.7)	7(7.0)	12(6.0)
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数		68	68	68	67	67	64
開所日数(土曜日)		22(2)	22(2)	20(3)	17(4)	19(1)	21(2)
1日の平均利用人数		41.5人	40.7人	39.8人	36.3人	39.6人	38.0人
内訳	2F 平日延べ人数(平均)	361(18.1)	341(17.1)	346(17.3)	302(17.8)	326(17.6)	362(17.2)
	3F 平日延べ人数(平均)	532(26.6)	525(26.3)	523(26.2)	412(24.2)	449(23.6)	482(22.9)
	2F 土曜延べ人数(平均)	12(6.0)	18(9.0)	25(8.3)	24(6.0)	9.0(9.0)	19(9.5)
	3F 土曜延べ人数(平均)	10(5.0)	12(6.0)	21(7.0)	24(6.0)	7.0(7.0)	12(6.0)

【参考：直近3年度の延べ利用人数】

	平成27年度 (268日開所)	平成28年度 (269日開所)	平成29年度 (265日開所)
2F	4,521	4,718	4,492
3F	6,652	6,739	6,267
合計	11,173	11,457	10,759

【参考：直近3年度の利用登録者数(\*いずれも当該年度の3月末時点での人数)】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
2F	33	34	31
3F	37	36	34
合計	70	70	65

## 2、作業型(3F)

### 1) 作業

既存の作業に加えて新たな作業を引き受けるなど、1年を通して安定した作業量を利用者に提供することができた。既存の作業が安定して提供できていることで、作業能力や作業効率も徐々にではあるが向上している。また完成品の納品やアルミ缶回収など、作業を通して外出する機会も増えて地域との繋がりや社会参加していることを利用者が実感することができた。

### 2) 行事・取り組み

隔週火曜日を中心に取り組み（カラオケ、ゲーム、身だしなみ、調理、体操など）を行ない、作業以外の個々のニーズに対応することができた。また、年間を通して季節行事（運動会、BBQ、忘年会、新年会など）を企画して実践することもできた。作業以外の取り組みの充実は、利用者のモチベーションに繋がっており、この企画を楽しみにむづみに来所する利用者も増えてきた。

また昨年度に続き、一泊旅行を企画して実行できた。利用者にとっても魅力ある活動となり、職員も利用者の障害の状態の把握、「生活をする上で必要な支援は何か」を再確認できるよい機会となった。

### 3) その他

利用者、家族の高齢化により親亡きあと生活も考え平成31年を目標としたグループホーム設立に向け個々の聞き取りや職員での勉強会、打ち合わせを行ってきた。しかし、検討体制が整わなかったため具体的な検討を行うことはできなかった。

なお、平成30年度より法人本部事務局で事業検討を行う。

【参考：直近3年度の利用者の平均工賃】(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総売上	4,479,174	5,123,321	8,612,104
工賃	1,801,340	2,922,771	3,221,006
1人当たりの平均	51,460	74,940	78,563

### 3、日中活動型(2F)

#### 1) 日中活動

普段の取り組みは安心・安全に重点を置き、個々の利用者の状態やニーズに応じたメリハリのあるプログラム（午前は活動的、午後はリラックス）を設定した。昨年に続き午後のプログラムでは、医師・理学療法士・サービス管理責任者・担当職員とで連携してリハビリ計画書を作成し、個々の障害を把握した体操を継続することができた。こうした工夫が功を奏し、障害が重い利用者や医療ケアの必要な利用者も身体機能の低下や大きな事故もなく無事過ごすことができた。

#### 2) 行事・取り組み

季節行事（花見、正月遊び、バレンタイン・ハロウィン調理など）やイベント（BBQ、運動会、クリスマス会、音楽会など）を毎月のように企画し、実践することができた。イベントや行事では、「季節を感じることができる」、「いつもと違う雰囲気や環境がよい刺激につながっている」と利用者や利用者の保護者からも好評であった。

### 4、嘱託医との連携

月に1度の診察を提供することができ、利用者の状況の把握に努めることができた。

インフルエンザやノロウィルスなど、季節的に流行が予見できる病気に対する注意喚起や予防の啓発を積極的に行なってもらい、本年度も流行性の病気で休む利用者は少なかった。

### 5、入所者・退所者

年度を通し利用者の新規の受け入れはなかった。ただし、現在通所している利用者から利用日数を増やしたいと希望があつたため利用日数を増やした。

一方、退所者は5名いた。内訳は、ほかのサービス利用(入所施設利用)決定のためが3名、他のサービス検討のためが1名、亡くなられた利用者が1名であった。

#### 退所者

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ・2階～平成29年4月 女性1名 | ・3階～平成30年1月 男性1名 |
| 平成30年3月 女性1名     | 平成30年3月 女性1名     |
| 平成30年3月 男性1名     |                  |

## 【なごみ居宅・移動サポートセンター】

### 1、総論

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に規定する指定障害者福祉サービス〔居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護〕及び地域生活支援事業における移動支援を行なった。

常に利用者の意思決定を尊重し、思いやりの志を大切にしながら安心・安全なサービスを心掛けて取り組んだ。また、相談支援事業者や他の居宅支援事業所との連携（サービス相談や情報共有など）に努め、一つひとつのケアの質の向上を図った。

### 2、各取り組み

#### 1) 集団外出

更なる余暇活動の充実へと繋がるよう、アンケートに基づきニーズの高い企画を盛り込んで取り組んだ。また、電車を用いての市街への外出など新たな試みを加えての企画になるよう努めしたことにより、これまでとは違う利用者の方の一面が垣間見られた。

年度を通して、大きなトラブルもなく計画通りでの実施となった。参加者や家族の方から好評の声が寄せられ、企画をした成果は得られた。諸事情等により参加出来なかつた利用者の方からは、次年度はぜひ参加したいとの声が寄せられた。

#### 《集団外出の状況》

##### 7月：『半日外出』

**第一弾** 利用者3名・スタッフ3名の計6名で、農業センター（De laファーム）への外出 《ひよこの抱っこ・乳しぼり疑似体験》

##### 10月：『電車で市外へ出かけよう（リニモ）』

利用者3名・スタッフ5名の計8名で、愛知県陶磁資料館・長久手イオンへの外出 《絵付け体験（湯呑み）》

##### 11月：『半日外出』

**第二弾** 利用者4名・スタッフ5名の計9名で、マイカーズピアへの外出  
《サンプル工房にてサンプル作成体験》

##### 12月：『クリスマスパーティー』

利用者5名・スタッフ7名の計12名で、むつみ交流室にて調理〔サラダ巻き・ゼリー〕&ペア対抗ゲーム

##### 1月：『お楽しみ会』

利用者4名・スタッフ5名の計9名で、カラオケ外出〔JOYJOY 金山セガ店〕

##### 3月：『半日外出』

**第三弾** 利用者4名・スタッフ5名の計9名で、「旅まつりなごや2018～旅と宿と人のふれあい～（矢場町）」への外出《ゆるキャラとの記念写真》

## 2) スタッフ研修

専門性の高いサービス提供ができるよう資格取得のための養成講座を受講し、スキルアップを図った。また、事業所内での研修として、月1回時間を設けて少人数ではあったが1年通して継続して取り組んだ。

スタッフ育成として、非常勤スタッフへの情報提供・共有を図れるようスタッフ研修会を実施した。ヘルパー業務について理解を深め、地域生活の担い手としてあるべき姿を考える機会となった。交流する機会が限られるスタッフにとっては、支援方法のアドバイスなど意見交換のできる有意義な場となった。

それ以外に、集団外出の機会を研修の一環として位置づけ、企画ごとに利用者の方との組み合わせや関わり方などの工夫を図った。

## 3) スタッフ募集

法人内の他事業との連携を図り、継続した求人募集を行なった。ハローワークや募集チラシ等の効果により、施設との兼務スタッフとして安定した勤務が可能なスタッフの確保に至った。その他にも求人募集への応募や問い合わせはあったが、採用には繋がらず若干数のスタッフ確保となった。

また、今年度中の初任者研修養成講座開講とは至らなかったが、模索する中で開講についての問い合わせもあり、開講の必要性を感じる機会となった。

今後も継続してチラシを用いての募集を中心に登録スタッフの募集に努め、中長期的に安定したスタッフ数を確保できる礎を構築していくよう取り組んでいく。

## 3、事業実績

新規契約者3名、年度途中での施設入所等の理由による契約終結者が3名であったため、契約者数の変動はなかった。

新規のサービス利用に関する相談が、ご家族をはじめ、相談支援事業所や同業である居宅介護支援事業所から寄せられたが、主に夜間帯や専門性(経験や資格)を必要とするサービスの相談が多く、受け入れ可能な状況(時間帯等)ではないため、新規のサービス提供へとは繋がらなかった。

年度後半にかけて様々な要因が重なりサービス件数の減少が顕著となる結果となった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	44(26)	44(26)	44(26)	43(26)	44(27)	44(27)	43(26)	43(26)	44(27)	44(27)	43(26)	43(26)	43(26)
利用実績	33	36	35	35	36	36	34	36	33	33	31	33	411
<内訳>													
居宅介護	14	14	14	14	13	13	13	13	13	11	11	11	156
重度訪問介護	14	15	18	18	13	14	14	15	14	14	15	17	181
行動援護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
同行援護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
移動支援	12	13	12	12	15	14	13	14	11	12	11	11	150
利用のべ件数	262	303	303	291	253	269	287	293	282	233	214	242	3,232
提供のべ時間数	418.5	479.5	498	469.5	411	433.5	518	499	472.25	411.75	374	442.75	5,427.75
従業スタッフ数	9	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11

※カッコ内は、むつみグリーンハウス利用者

#### 4、事業の対象者

身体障害	知的障害	障害児	精神障害
32〔10〕	31〔8〕	1	2〔1〕

※〔 〕単独手帳所持者

<重複> 身体十知的：22名 知的十精神：1名

#### 5、事業の実施地域(名古屋市全域)

中区	中川区	昭和区	西区	港区	東区	計
16	4	3	1	6	1	43
熱田区	千種区	中村区	守山区	北区		
2	3	3	2	2		

## 【障害者相談センター 一歩】

### 1 基本相談

平成 29 年度の職員体制としては、平成 28 年度同様、常勤スタッフ（相談支援専門員）2 名体制でお互いのケースの状況を把握し、連携しながら取り組んだ。

基本相談については「福祉サービスの利用に関する支援」が大半を占める状況である。特に精神疾患のある利用者や関係事業所からの相談が増加傾向にあり、事業所と利用者との間でトラブルがあった場合の「関係修復の調整」や体調不良により事業所を休むことが増えたことでの「通所の調整」などが多い状況である。

### 2 計画相談

契約数については、平成 28 年度に比べ、10 名増の 123 名（新規利用者が 16 名、契約解除利用者が 6 名）の状況である。契約者の内訳としては、平成 29 年度も「むつみグリーンハウス」と「ティンクルなごや」の利用者を中心にしながら、地域の方（中区在住の方約 50 件）の計画相談支援を行なった。特にむつみグリーンハウスの利用者については、親が高齢で介護が困難な状況になったことから入所施設への移行を検討するケースが増えた。緊急時のショートステイ利用や入所施設、ヘルパー調整などの調整が多く、入所施設については名古屋市だけでは見つからないケースもあり、市外の施設を調整するケースも出てきている。

地域の方のケースについては半数以上が精神疾患の方であることから「福祉サービスの利用などに関する支援」「不安の解消・情緒安定に関する支援」「健康・医療に関する支援」が多く、医療との連携が必要なケースが多くみられた。

#### 計画作成(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	4	7	8	9	8	9	3	9	10	10	17	105

平成 28 年度 104 件

#### モニタリング(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18	16	25	29	25	29	15	10	21	26	22	30	266

平成 28 年度 173 件

契約者地域(名古屋市)

中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	中村区	西区
56	3	5	4	8	9	5	9
北区	東区	千種区	緑区	天白区	名東区	守山区	南区
4	2	5	1	4	0	3	2

名古屋市以外

東海市	あま市	岐阜県大野市	契約者数
1	1	1	123

平成 28 年度 契約者数 113 名

障害種別

身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病
82	79	23	1

※身体障害と知的障害の重複している方が 61 名

身体障害と精神障害の重複している方が 1 名

(表は平成 30 年 3 月 31 日現在の数字)

3 障害者基幹相談支援センターとの連携

支援に必要な情報収集や課題を共有、他の相談機関とのネットワークづくりに努め、相談支援部会や全体会など中区障害者自立支援連絡協議会に定期的に参加した。また、より利用者のニーズに合わせたサービスが行なえるよう、個々のケースで困った時などには必要に応じて基幹相談支援センターに相談をした。

【中区障害者自立支援連絡協議会】

4月3日	相談支援部会①	11月2日	全体会②
5月8日	相談支援部会②	11月6日	相談支援部会⑧
5月30日	全体会①	12月4日	相談支援部会⑨
6月5日	相談支援部会③	1月9日	相談支援部会⑩
7月3日	相談支援部会④	2月5日	相談支援部会⑪
8月14日	相談支援部会⑤	2月13日	相談支援部会研修会 「配食サービス試食会」
9月4日	相談視線部会⑥	3月5日	相談支援部会⑫
10月2日	相談支援部会⑦		

#### 4 職員研修・人材育成

法人内研修として中区障害者基幹相談支援センターとあかもん、一歩が合同で相談支援部門として隔月研修を行なった。研修内容は主に事例検討で、様々な意見を出し合うことで、自分とは違う視点からの物の見方やアセスメントで聞き取れていらない部分があることの気づき、また発表を通して相手にどのように伝えたらよいのか、相手はどのように感じたのかなど様々なことを考える機会となった。

外部研修としては、ショートステイや入所施設を中心に見学を行なった。現在、親の介護力の低下に伴い、生活の場を考える必要のあるケースが増えている状況である。こうしたケースに対応するため、入所施設（ショートステイ含む）の見学に行くことでより正確な情報を確認し、ニーズにあったサービスの調整をした。

#### 【法人内合同研修】（基幹相談支援センター＋障害者相談センター一歩＋あかもん）6回

日時	活動内容	日時	活動内容
5月10日	事例検討 「不安神経症、パニック障害、うつ病」	11月1日	事例検討 「アスペルガー、排出性障害、解離性同一性障害」
7月5日	事例検討会 「器質性妄想性障害」	1月17日	事例検討会 「知的障害」
9月13日	事例検討会 「知的障害」	3月7日	平成29年度研修振り返り 平成30年度研修計画

#### 【外部研修】

5月17日	養和荘（春日井市） 「障害者支援施設」	11月10日	よすがの家（緑区） 「障害者賃貸住宅」
6月7日	春日苑（春日井市） 「障害者支援施設」	11月21日	信愛医療療育センター（豊川市） 「医療型障害児入所施設」
7月4日	太郎と花子（丹羽郡大口町） 「住宅型有料老人ホーム」		

## 【中区障害者基幹相談支援センター】

### 1 事業提携（スーパーバイズ契約）

平成 29 年度も引き続き、精神障害に対する専門的な対応が行なえるような体制確保のため、「鶴舞メンタルクリニック」とスーパーバイズ契約を結び、相談支援の強化に努めた。ソーシャルワーカーが週 2 日（月、木）常駐できる環境を整え、各ケースに対してワーカーが必要な指導や助言を受けられるよう工夫した。必要に応じて面談や会議等への同席、訪問、同行なども行なった。

### 2 事業内容 ※p.25 参照

#### （1）総合相談

相談者数は年々増加傾向にあり、特に「精神障害」の相談件数の増加が顕著で、年間累計としても「精神障害」が約 45% の割合を占めた。また、毎月の相談者数の内、新規相談の約 50% 以上が「精神障害」という状況であった。

全体の相談状況としては昨年に引き続き「福祉サービスの利用などに関する支援」の相談内容が一番多く、また精神障害の方の相談が多かったことから「不安の解消・情緒安定に関する支援」「健康・医療に関する支援」の伸びが顕著だった。

#### （2）処遇困難な障害者（児）への相談支援（計画相談）

サービス等利用計画の契約者数は昨年と比べ大きな変化はないが、新規のケースの中には虐待ケース（ネグレクト）で親と子どもの双方の支援（家族支援）が必要なケースや長期間入院をしていた方の地域移行支援などのケースあり、より他機関との連携が必要なケースが増えている。こうした状況から、生活が安定した方については特定相談事業所へ引き継ぎを行ないつつ、新規利用者の対応ができるよう体制を整えた。

処遇困難なケースは、そのほとんどがサービスに結びつかず、生活の基盤が安定しないものが多く、行政機関も含めた複数の相談機関との連携が必要な状況である。また、高齢の親と障害のある方が同居しているケースの相談も増えており、今後は高齢者分野との連携を強化する必要があることから、いきいき支援センターに対し、平成 30 年度からの協力と連携の強化について相談をしている状況である。

#### 【サービス等利用計画】

平成 30 年 3 月末現在 契約者数 20 名

（中区 19 名、中村区 1 名）

身体障害 8 名

知的障害 5 名

精神障害 8 名

児童 1 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画案	4	1	6	3	—	1	—	1	1	1	1	4	23
本計画	3	3	1	4	3	—	1	0	2	1	0	2	20
モニタリング	2	4	7	1	5	8	5	5	11	5	7	9	69
合計	9	8	14	8	8	9	6	6	13	7	8	15	112

平成28年度 合計実績 143件  
平成27年度 合計実績 142件

### (3) 地域環境作り（人材育成）※p.26 参照

中区障害者自立支援連絡協議会では「ネットワークの強化」「啓発」「個別支援の強化」を柱に、協議会の構成を「全体会」「運営会議」「専門部会」に分け、年間53回の活動を行なった。平成29年度は名古屋市自立支援連絡会が立ち上がったことを受け、より「課題の集約・整理・検討」に力を入れ、その課題を東ブロック会や名古屋市自立支援連絡会に上申するなど、課題を改善するための「仕組み作り」を行なった。

また、児童の分野については引き続き、昭和区の自立支援連絡協議会（児童部会）へ参加をした。新たな活動としては瑞穂区、昭和区、中区の3区合同で「性の学習会」を企画・実施した。

また、中区役所福祉課発行の「車いすお出かけマップ」、中区内の作業所が集まり運営を行なっている「なかよしマーケット」については、他機関の活動に対し協議会として協力を行なった。

人材育成については、「相談支援部会」を中心に各相談機関が直近で困っているケースについて協議をしたり、必要に応じ研修会を実施する等の活動を行なった。また、集団で共有・検討が困難な内容については、各特定相談事業所へ基幹相談支援センター(以下、「当センター」という。)が直接訪問し、個別に相談できる場を設定する等の対応を行なった。

### (4) 地域移行・地域定着支援

平成29年度は15年精神科病院に入院している方の支援として1件、1年以上2年未満精神科病院に入院している方の支援として1件の対応を行なった。どちらのケースも退院に向け、本人、家族、病院のドクター、PSW（ワーカー）等と相談しながら、外出・外泊の訓練を行なったり、住む場所を見学する等の支援を行ないながら、本人が地域で安心して生活できるよう配慮を行なった。

また、地域移行・地域定着支援を推進するにあたり新たな取り組みとして、東ブロック（千種区、昭和区、名東区、中区）の「保健所」「病院」「基幹相談支援センター」が集まり、地域移行を推進するための意見交換会を実施した。病院としては「名古屋医療センター」「愛知県精神医療センター」「名古屋大学」「精治寮病院」「杉田病院」が参加し、病院内の状況についてアンケートを実施することでより現状を具体的に共有でき

るようとした。アンケート結果の中には「地域移行についてわかりやすいマニュアルやパンフレットがあると説明がしやすい」といった意見もあり、平成 30 年度は地域移行のパンフレットなども活用しながら地域移行の理解が進むよう取り組んで行く。

#### (5) 権利擁護

「虐待相談」「差別相談」とともに相談受付の実績としては、〇件という状況であった。しかし、自立支援連絡協議会の相談支援部会において、困っているケースの中に「虐待ケースの対応（疑われるケース含む）」「成年後見制度の導入のタイミング」といった課題が挙げられている。その為、平成 30 年にはこのような課題に対する研修会を実施する方向で進めて行く

#### 【虐待相談件数】

受付件数：〇件

平成 28 年度受付件数 3 件

平成 27 年度受付件数 〇 件

#### 【差別相談件数】

受付件数：〇件

平成 28 年度受付件数 〇 件

#### (6) 障害支援区分認定調査

平成 29 年度は中区を中心に調査を実施した。平成 30 年度の更新について北区の調査の協力を行なうことになり、2 月から実施した。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
中区 (区役所)	5	9	4	8	9	6	12	7	5	2	12	12	91
中区 (保健所)	2	4	7	4	4	3	6	6	2	6	4	6	54
北区 (区役所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	4	7
合計	7	13	11	12	13	9	18	13	7	8	19	22	152

平成 28 年度実績 159 件

平成 27 年度実績 218 件

#### (7) 障害者賃貸住宅入居等サポート事業による入居支援

4件中4件が生活保護に関わる単身者の方からの相談で、「37,000円以内の家賃」「生活保護」といった条件で区内を探すことになった。うち3名が身体障害の方（視覚障害、肢体不自由）で「エレベーター」「バリアフリー」といった条件が追加することで物件探しに困難になり長期化したり、中区内で見つからず他区に移ったりするケースがみられた

実績： 4件

平成28年度実績 3件

平成27年度実績 1件

#### (8) 障害者自立支援配食サービスのアセスメント等

難病の方が配食サービスの対象になって2年目であったが、前年度に引き続き実績はなかった。精神の方の新規が徐々に増えている以外は特に大きな変化はみられなかった

	身体	知的	精神	難病	合計
新規	2	—	5	—	7
再アセスメント	13	3	5	—	21
合計	15	3	10	—	28

平成28年度実績 23件

平成27年度実績 26件

#### (9) 障害者サロン（よりみちサロン、ふれんず）

障害者サロンについては、「よりみちサロン」「ふれんず」の2つの活動を中心に、地域の在宅障害児・者の余暇の充実と障害の啓発を目的に活動を行なった。

【よりみちサロン+ふれんず】 月1回（第4土曜日） 開催回数（12回）

日時	活動内容	日時	活動内容
4月22日	ホットケーキ作り	10月21日	1日外出（蒲郡オレンジパーク）
5月27日	むつみ祭り準備	11月25日	テーブルテニス
6月10日	むつみ祭り（ジュース、ビール販売）	12月16日	クリスマスパーティー
7月22日	御坊夏祭り練習（バルーン作り）	1月27日	お正月遊び
8月19日	御坊夏祭り（バルーン作り）	2月24日	おこしもの作り
9月30日	DVD鑑賞	3月24日	平成28年度振り返り

### 【ふれんす】10回

日時	活動内容
4月10日	ボラネットなかまんなか連絡会①
5月15日	ボラネットなかまんなか総会
6月21日	ボラネットなかまんなか連絡会②
7月31日	ボラネットなかまんなか連絡会③
9月1日	ボラネットなかまんなか連絡会④
10月6日	ボラネットなかまんなか連絡会⑤
12月4日	ボランティア学習会
12月15日	ボラネットなかまんなか連絡会⑥
2月23日	ボランティア交流会
3月5日	ボラネットなかまんなか連絡会⑦

### (10) その他の活動

当センター関係の活動としては、「障害者基幹相談支援センター運営・調整会議」「東ブロック会」を中心に、「相談支援従事者初任者研修のファシリテーター」「研修講師」「介護口ボット普及モデル事業」などに協力することで、名古屋市全体の情報収集や課題の分析、相談支援専門員の養成や特定相談事業所とのネットワーク作りなどを行なった。

また、新たに平成29年度から開始された「名古屋市自立支援連絡会」にも東ブロックの代表として参加し、各区で解決できない課題を名古屋市の課題として捉え、集約・整理し、各ブロックの代表と名古屋市職員とで協議を行なった。

地域活動としては昨年度と同様に「中区地域福祉活動計画」「中区ボランティア・NPO応援助成審査会」「特別支援学校卒後対策連絡協議会」「中区福祉教育連絡会」「学区の研修会講師派遣」などに参加・協力し、地域福祉の推進に努めた。また、障害者施策などについての説明をお願いしたいといった依頼に対して、講師派遣という形で対応を行なった。さらに、新たな取り組みとして区内の全学区（民生委員・児童委員協議会）を訪問し、基幹センターの説明や地域の課題を確認する活動を行なった。

### 【基幹支援センター関係会議等】36回

日時	内容	日時	内容
4月26日	第1回触法障害者支援情報交換会	10月30日	第2回名古屋市自立支援連絡会
4月11日	東ブロック会①	10月31日	名古屋市相談従事者研修中堅者クラス研修会Ⅰファシリテーター
5月9日	名古屋市自立支援連絡会準備会	11月6日	平成29年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター③
5月25日	第1回障害者基幹相談センター運営・調整会議	11月7日	平成29年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター④
6月13日	第1回介護口ボット等取	11月8日	平成29年度愛知県相談支援従事者

	り組み連絡会		初任者研修ファシリテーター⑥
6月13日	第1回名古屋市自立支援連絡会	11月9日	平成29年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター⑥
6月15日	東ブロック会②	12月11日	名古屋市相談支援従事者研修会中堅者クラスⅡファシリテーター
7月25日	第2回触法障害者支援情報交換会	12月12日	東ブロック会⑤
7月19日	第2回障害者基幹相談センター運営・調整会議	12月20日	第4回障害者基幹相談センター運営・調整会議
7月26日	リオスマイル 講師派遣	1月23日	名古屋市公立保育園父母の会交流会 講師派遣
7月28日	第1回東ブロック地域移行意見交換会	1月24日	名古屋市自立支援連絡会準備会
8月25日	東ブロック会③	1月30日	第4回触法障害者支援情報交換会
9月14日	名古屋市自立支援連絡会準備会	1月31日	第2回東ブロック地域移行意見交換会
10月2日	平成29年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター①	2月8日	東ブロック会⑥
10月3日	平成29年度愛知県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター②	2月21日	第3回名古屋市自立支援連絡会
10月3日	第3回触法障害者支援情報交換会	3月1日	第2回介護ロボット等取り組み連絡会
10月11日	東ブロック会④	3月22日	名古屋市相談従事者研修(共通全体研修)
10月18日	第3回障害者基幹相談センター運営・調整会議	3月22日	第5回障害者基幹相談センター運営・調整会議

### 【地域の活動】20回

日時	活動内容	日時	活動内容
5月27日	中区ボランティア・NPO応援助成審査会	11月14日	名城学区民生委員・児童委員協議会(訪問)
6月9日	中区地域福祉活動計画作業部会①	11月17日	中区地域福祉活動計画作業部会④
6月13日	大須学区民生委員・児童委員協議会(訪問)	1月26日	中区地域福祉活動計画作業部会⑤
6月13日	中区地域福祉活動計画推進委員会①	2月14日	新栄学区民生委員・児童委員協議会(訪問)

6月28日	特別支援学校等卒後対策連絡協議会	2月16日	中区福祉教育連絡会
7月11日	中区地域福祉活動計画作業部会②	2月19日	正木学区民生委員・児童委員協議会（訪問）
9月5日	老松学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	2月20日	御園学区民生委員・児童委員協議会（訪問）
10月3日	中区地域福祉活動計画作業部会③	2月21日	中区地域福祉活動計画推進委員会②
10月17日	栄学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	2月22日	松原学区民生委員・児童委員協議会（訪問）
10月18日	橘学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	3月13日	平和学区民生委員・児童委員協議会（訪問）

#### (11) 研修

法人内研修については、当センター単独で実施したものを年9回、障害者相談センターとあかもんと合同で実施した研修を年6回行なった。事例検討を中心に行なったが、研修スタイルも徹底した。毎回、司会や書記（ホワイトボードへ記入）、事例提供者などに役割を振り分け、各職員がそれぞれの役割で求められるスキルを身に付けられるよう努めた。

外部研修は、法人内の研修では補えない専門的な知識や技術について学べるよう、必要に応じて参加した（年間20回）。

#### 【法人内研修】当センター 9回

日時	活動内容	日時	活動内容
4月26日	事例検討会 「広汎性発達障害」	9月6日	事例検討 「双極性感情障害」
5月17日	事例検討会 「統合失調症」	10月11日	事例検討 「広汎性発達障害」
6月14日	事例検討会 「統合失調症」	12月13日	事例検討 「知的障害」
7月12日	事例検討会 「脊髄動静脈奇形による両下肢麻痺、エーラス・ダンロス症候群」	2月14日	事例検討 「知的障害」
8月9日	事例検討 「脳動脈奇形による右上下肢全麻」		

【法人内合同研修 \*再掲】(当センター+障害者相談センター歩+あかもん) 6回

日時	活動内容	日時	活動内容
5月10日	事例検討 「不安神経症、パニック障害、うつ病」	11月1日	事例検討 「アスペルガー、排出性障害、解離性同一性障害」
7月5日	事例検討会 「器質性妄想性障害」	1月17日	事例検討会 「知的障害」
9月13日	事例検討会 「知的障害」	3月7日	平成29年度研修振り返り 平成30年度研修計画

【外部研修】20回

4月25日	名古屋市障害者相談支援従事者研修初任者クラス①	10月11日	障害者虐待受付機関職員連絡会・研修会
5月26日	障害者虐待相談職員研修会	10月13日	こころの健康づくり講演会
6月12日	進路関係機関連絡会	10月31日	名古屋市相談従事者研修中堅者クラス研修会Ⅰ
6月23日	障害者差別「地域の窓口」従事者研修	11月28日	経営者・施設長セミナー①
7月12日	名古屋市総合リハビリテーションセンター説明会	11月30日	高齢者虐待・障害者虐待・障害者差別「地域の相談窓口」従事者合同研修会
7月31日	サービス等利用計画作成研修Ⅰ	12月11日	相談支援技術研修
8月23日	名身連現況説明会	12月11日	名古屋市相談支援従事者研修会中堅者クラスⅡ
9月13日	障害者差別「地域の窓口」従事者研修	3月2日	名古屋市障害者相談支援従事者研修初任者クラス②
9月28日	薬物問題関係者研修	3月6日	第2回地域移行地域定着支援推進研修
10月5日	地域生活支援研修	3月22日	障害者差別「地域の相談窓口」研修

3 精神障害者地域活動支援事業 あかもん の事業開始

平成29年4月より、当センターの1階で精神障害者地域活動支援事業を開始した。

当センターで利用希望のある方にあかもんを紹介する活動をした結果、平成30年3月末日までの見学者53名中のうち、21名が当センターからの紹介者であった。また、そのうち11名が登録へ繋がった。

登録後も、当センターとあかもんが連携しながら支援を行なえる環境が整っている。

## 事業内容報告書

中区障害者基幹相談支援センター (計)

平成29年度(平成29年4月~30年3月)

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	難病患者 (その他の再掲)
障害者	338	97	1	74	163	28	6	16	6
障害児	18	3	1	12	0	5	0	2	0
計	356	100	2	86	163	33	6	18	6

## 支援内容・方法

		福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	虐待相談 (権利擁護の再掲)
訪問	訪問	189	4	14	18	1	1	2	10	5	0	4	17	265	0
	同行	36	4	11	6	5	0	8	1	0	0	0	17	88	0
	個別支援会議	40	1	1	1	3	2	1	4	4	0	0	0	57	0
	関係機関調整	4	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	1	11	0
	その他	15	6	8	0	1	2	2	0	0	3	0	98	135	0
	小計	284	15	36	25	11	5	13	15	9	3	7	133	556	0
来所	来所	301	39	25	215	0	17	18	10	57	96	14	46	838	0
	電話	738	80	154	696	40	46	32	25	106	52	18	131	2118	0
	電子メール	151	12	3	3	1	18	2	0	0	0	1	14	205	0
	小計	1190	131	182	914	41	81	52	35	163	148	33	191	3161	0
	計	1474	146	218	939	52	86	65	50	172	151	40	324	3717	0
ピアカウンセリング(再掲)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	総会(全体会)	部会	研修会	その他	計
地域自立支援協議会	2	34	5	10	51

事業運営費外	障害支援区分認定調査	サービス等利用計画(案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
	152件	23件	20件	69件	4件

## 平成29年度 中区障害者自立支援連絡協議会開催状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

計 53回 ／ なかよしマーケット(24回)

### <専門部会>

#### 相談支援部会(計 13回) <相談支援の強化>

4月3日 5月8日 6月5日 7月3日 8月14日 9月4日 10月2日 11月6日 12月4日 1月9日 2月5日 2月13日 3月5日

- ・社会資源情報確認
- ・中区・熱田区 空き状況確認(居宅、通所)
- ・各相談機関の近況および状況共有
- ・名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターについて
- ・研修会「配食サービス試食会」

#### 福祉ふれあいサポート部会(計 11回) <障害の理解に対する啓発>

5月26日 7月27日 8月16日 8月17日 8月22日 8月28日 10月4日 10月27日 12月13日 2月26日 3月16日

- ・第4回中区安心安全快適なまちづくり大会準備(当日は雨天により中止)
- ・講演会「多様性を生きる～性と人権～」 講師：名古屋大学医学部付属病院医師 松尾 かずな氏
- ・講演会準備及び反省会

#### 広報部会(計 8回) <福祉サービスの広報>

6月2日 7月5日 7月26日 8月31日 10月26日 12月1日 1月12日 3月12日

- ・ガイドブック作成
- ・バリアフリーマップについて

#### ネットワーク部会( 5回) <ネットワークの強化>

7月8日 7月25日 11月30日 1月25日 2月20日

- ・見学会「放課後等デイサービス マーム」 交流会「利用者支援における職員間の情報共有の仕方と工夫について」
- ・ヘルパー事業所意見交換会「ケース対応について」「性」「ゴミ屋敷」「精神疾患」
- ・見学会「アピー千代田」
- ・見学会「テリオスAlpha」 交流会「事業所の障害配慮へのクレームを繰り返される利用者への支援について」
- ・見学会「精治寮病院・デイケア」

#### なかよしマーケット(計 24回) <授産製品の販売強化> 毎月第2.4火曜日

4月11日 4月25日 5月9日 5月23日 6月13日 6月27日 7月11日 7月25日 8月8日 8月22日 9月12日 9月26日 10月10日

10月24日 11月14日 11月28日 12月12日 1月9日 1月17日 1月23日 2月13日 2月27日 3月13日 3月27日

- ・即売会
- ・中区安心安全快適なまちづくり大会協力

### 全体会(計 2回)

5月30日 11月2日

- ・平成28年度事業報告
- ・平成29年度事業計画
- ・平成29年度前期活動報告
- ・新規参入事業所紹介
- ・中区役所福祉課より
- ・研修会「助け合いの仕組みづくり」事業について 中区役所総務課
- ・研修会「ありのままを生きる」 講師：キャサリン氏

### 運営会議(計 6回)

4月26日 6月27日 8月28日 10月16日 12月14日 2月19日

- ・社会資源情報確認
- ・各部会状況確認
- ・名古屋市自立支援連絡会報告
- ・課題共有と課題改善に向けた対応について

### 昭和区児童部会(計 8回 )

4月18日 6月20日 8月10日 9月30日 10月11日 11月21日 1月16日  
2月28日

- ・見学会「若杉作業所」
- ・見学会「わだちコンピューターハウス」
- ・見学会「名古屋市天白養護学校」
- ・「性」の学習会～障害のある子ども・若者の心と体を学ぶ講座～
- ・「性」の学習会～実践に向けての取り組み方～
- ・「性」の学習会～実践報告会～

## 【精神障害者地域活動支援事業 あかもん】

### 1 総論

平成29年度は立ち上げの1年目ということから、安心して通うことができる場所作りを目標とし、一つひとつ丁寧に確認しながら取り組んだことで大きなトラブルがなかった。特に精神障害者を対象にした事業であることから、スーパーバイズ契約を結んでいる鶴舞メンタルクリニックのスタッフや他区で既に地域活動支援事業を行なっている事業所等の協力やアドバイスを得ながら、専門性が高められた。

利用者確保については、定員が20名であることから、まず登録20名を目標に取り組んだ。「保健所」「基幹相談支援センター」「特定相談事業所」「デイケア」「精神科病院」等と連携しながら「見学→体験→面談→判定→登録」の順番で進め、年度末には登録が目標の20名に達することができた。

### 2 支援体制と職員配置

精神保健福祉士の資格保持者を中心に支援員（7名中5名）を配置することで、精神疾患のある方への専門的な支援が行なえた。また、スーパーバイズ契約を結んでいる鶴舞メンタルクリニックのスタッフに協力要請することで、より専門的な精神疾患に配慮した安心感を得られるような対応ができる環境作りに取り組んだ。

### 3 事業の実施状況

#### (1) 創作的活動又は生産活動の機会の提供に関する業務

月間プログラムを毎月発行し、利用者が予定を把握し、安心して参加できるように努めた。プログラムについては、プログラムミーティングの時間を設定し、利用者の希望を取り入れられるようにしたり、季節が感じられるプログラムを設定するなど利用者が参加したいと感じられるような配慮を行なった。

#### <プログラム内容>

創作活動	小物作り、さをり織
調理活動	食事作り、おやつ作り
音楽活動	CD鑑賞、歌唱
外出活動	散歩、外食、初詣、イベント参加、講演会参加
健康づくり	導引養生功（外部講師）、卓球大会
教養活動	DVD鑑賞、パソコン教室、点字、園芸、ゲーム
ミーティング	茶話会、プログラムミーティング、お悩みごと相談
災害対策	防災訓練
季節の活動	お花見、冷やし飴作り、ハロウィンパーティ、七夕祭り クリスマスパーティー、お正月遊び

## (2) 社会との交流の促進に関する業務

地域とのつながりが築けるよう、定期的に地域のイベントに参加をした。また、他区の地域活動支援事業所やデイケアなどと交流が持てるような場の設定も行なった。また、プログラムを設定するにあたり、外部講師の依頼（導引養生功）やボランティア、実習生の受け入れなどを行なうことで様々な人との交流が図れるように努めた

### <地域のイベント、交流会>

地域のイベント	中区なごやかウォーク、大須学区クリーンキャンペーン 植物を育てよう講座（名城公園フラワーガーデン） むつみ祭り、御坊夏祭り、戦争に関する資料館 ツリー飾りつけコンペ（池田公園）
交流（訪問・来所）	鶴舞メンタルクリニック（デイケア） たかみ（地活）、かもめくらぶ（地活）、そよかぜ（地活）

## (3) 日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務

利用者が日常生活上で困っていることや不安に思っていること等については、必要に応じて面談の場を設定するなどの対応を行なった。また、あかもんのスタッフでは対応が困難な内容の場合などには、基幹センターや各専門機関に相談・連携し対応するよう努めた

## 4 地域の事業所等との連携と普及啓発等事業

精神障害者地域活動支援事業の交流会に定期的に参加することで情報交換や連携の強化に努めた。また、区内の自立支援連絡協議会へ参加しすることで「医療」「福祉」「地域住民」など地域とのネットワークが構築できるように努めた。

特に医療機関については、区内及び近隣区の精神科クリニックや市内の精神科病院に対して、事業内容の説明の挨拶訪問を行ない、利用者の確保と利用後の連携が取れるような体制づくりに努めた。

さらに、中区障害者基幹相談支援センターが区内全区の民生委員・児童委員協議会を訪問する際に同行し、あかもんの事業説明を行なうことで「障害福祉」及び「事業内容」について理解が深まるよう取り組んだ。

### <地域活動支援事業所交流会>

6月5日	第1回交流会「情報共有」	場所：かけ橋
10月10日	第2回交流会「情報共有」	場所：かけ橋

＜民生委員・児童委員協議会訪問】

6月13日	大須学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	2月14日	新栄学区民生委員・児童委員協議会（訪問）
9月5日	老松学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	2月19日	正木学区民生委員・児童委員協議会（訪問）
10月17日	栄学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	2月20日	御園学区民生委員・児童委員協議会（訪問）
10月18日	橋学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	2月22日	松原学区民生委員・児童委員協議会（訪問）
11月14日	名城学区民生委員・児童委員協議会（訪問）	3月13日	平和学区民生委員・児童委員協議会（訪問）

5 利用者状況

＜見学・利用体験、登録者の人数＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
累計登録者数	0	0	6	7	9	14
開所日数	20	21	24	21	22	20
見学・利用体験者数	20	21	13	14	11	8
延べ人数 (1日平均)	60 (3)	80 (3.8)	110 (4.5)	118 (5.6)	158 (7.1)	161 (8)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計登録者数	16	18	19	19	20	21
開所日数	21	21	6	19	19	21
見学・利用体験者数	9	7	1	0	6	7
延べ人数 (1日平均)	146 (6.9)	148 (7)	158 (7.9)	139 (7.3)	172 (9)	176 (8.3)

＜契約者地域(名古屋市)＞

名古屋市以外

中区	昭和区	千種区	南区	天白区	港区	守山区	岡崎市
12名	3名	1名	1名	1名	1名	1名	1名

6 開所日及び開所時間

月曜日～金曜日（9:30～17:00）を中心に活動を行なった。また、地域の行事などに参加する場合は、土曜日や日曜日などの休日にも開所し活動を行なった

## 7 人材育成・職員研修

法人内研修については、事例検討を中心に、基幹相談支援センターと障害者相談センターの3事業所合同で実施した研修を年6回行なった。研修スタイルについては毎回、司会や書記（ホワイトボードへ記入）、事例提供者などに役割を振り分け、各職員がそれぞれの役割で求められるスキルを身に付けられるよう努めた。あかもんについては事例提供者としても役割を行なった。

### 【法人内合同研修 \*再掲】（基幹相談支援センター+障害者相談センター+歩+あかもん）6回

日時	活動内容	日時	活動内容
5月10日	事例検討 「不安神経症、パニック障害、うつ病」	11月1日	事例検討 「アスペルガー、排出性障害、解離性同一性障害」
7月5日	事例検討会 「器質性妄想性障害」	1月17日	事例検討会 「知的障害」
9月13日	事例検討会 「知的障害」	3月7日	平成29年度研修振り返り 平成30年度研修計画

### 【外部研修】

8月28日	権利擁護支援者研修	2月20日	精治寮病院見学会
11月7日	精神障害者研修		

## 【名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや ＜医療型障害児入所施設・療養介護・短期入所（医療型）＞】

### 1 総論

事業計画において、開設 3 年目の課題として「理念、基本姿勢の確認とそれに向けた実践」をあげた。

具体的には日常生活支援ニ療育の充実、組織としての支援機能の向上、他機関と協力した支援、利用ニーズの把握とそれに対する適切な対応を上げた。

平成 29 年 12 月 26 日付名古屋市障害者支援課長名の通知「ティンクルなごや利用者にかかる当面の確保計画等について」（依頼）において、その対応策を平成 30 年 1 月 29 日までに文書による回答を求められた。

また、同時期に愛知県からは「公的医療機関等 2025 プラン」の作成、提出を求められた。

二つの文書の作成を通して、当施設が名古屋市立としては唯一の重症心身障害児者施設として入所調整会議、児童相談所等の移行に適切に対応出来るよう、より一層の努力が求められていること、入所が適当とされた対象者については速やかに受け入れる体制を整えること、今後予想される対象者の重症化、高齢化、家族問題を伴うケースの増加などへの対応について今後の課題として取り組むことを確認した。

なお、平成 29 年度事業計画では稼働率の目標は、長期入所について 90% 以上としたが、現在の状況を勘案して、当面の稼働率目標を平成 29 年度末までに 80% のめどを立てることとした。

### 2 稼働実績

本年度の稼働実績は年間平均で 55.6 (46.0) 床《69.5%》。平成 30 年 3 月末時点での長期入所 58 (51) 名《72.5%》、短期入所 6.7 (4.3) 名だった。長期入所者のうち、有期限利用者が 6 (4) 名あった。（カッコ内は 28 年度）《29 年度稼働率》

一方、職員の充足状況は 30 年 3 月 31 日時点で看護師 54.7 名(89.1%→94.3%)、生活支援員 36 名 (82.2%→80.0%) だった。看護師、生活支援員ともに退職者があり、看護師はほぼ補充できたものの、生活支援員については退職者の補充ができなかった。

予算定員は看護師 58 名、生活指導員 45 名であり不足が継続している。

職員数一覧表

	医師			看護師		生活支援員	PT/OT		薬剤・栄養 ・事務等		計	
	常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
29/3	2	7	5.1	51	1	37	3		13	8	106	16
30/3	3	7	6.7	54	1	36	3	1	10	8	106	17

### 3 長期入所

#### ① 利用者の概要

利用状況一覧表（施設入所）

内訳	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延入所者数		1,557 (1,059)	1,679 (1,056)	1,632 (1,134)	1,627 (1,246)	1,733 (1,271)	1,698 (1,157)
18歳未満		237 (147)	277 (148)	231 (172)	201 (208)	216 (195)	224 (180)
18歳以上		1,320 (912)	1,402 (908)	1,401 (962)	1,426 (1,038)	1,517 (1,076)	1,474 (977)
新規入所者数		2(1)	3(1)	2(2)	2(3)		(1)
退所者数			1(1)	2	(1)	(2)	
実入所者数*		53(37)	55(38)	55(38)	57(40)	57(42)	57(40)
18歳未満		8(6)	9(6)	9(5)	8(7)	8(7)	8(6)
18歳以上		45(31)	46(32)	46(33)	49(33)	49(35)	49(34)
超重症児者数		9(4)	9(4)	9(4)	9(7)	9(6)	9(8)
準超重症児者数		12(11)	12(10)	12(10)	12(10)	12(11)	12(9)
呼吸管理		13(11)	13(11)	13(11)	13(12)	13(12)	13(12)
人工呼吸器		7(4)	7(4)	7(4)	7(7)	7(6)	7(6)
気管切開のみ		6(7)	6(7)	6(7)	6(5)	6(6)	6(6)
経管栄養		32(23)	33(23)	32(23)	32(26)	32(26)	32(26)
学校教育		6(2)	6(2)	6(3)	6(3)	6(3)	6(3)
訪問教育		4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)
通学		2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)
措置入所者数		1(0)	1(1)	3(0)	1(0)	1(0)	1(0)

内訳	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延入所者数		1,730 (1,281)	1,598 (1,234)	1,674 (1,333)	1,686 (1,352)	1,526 (1,322)	1,766 (1,564)
18歳未満		242 (186)	210 (178)	210 (186)	210 (165)	210 (140)	227 (181)
18歳以上		1,488 (1,095)	1,388 (1,056)	1,464 (1,147)	1,476 (1,187)	1,316 (1,182)	1,539 (1,372)
新規入所者数		(1)		(1)	(3)	(4)	3(2)
退所者数		1	1				1(1)
実入所者数*		56(41)	55(42)	55(43)	55(43)	56(46)	58(50)
18歳未満		7(6)	7(6)	7(6)	7(6)	7(6)	8(6)
18歳以上		49(35)	48(36)	48(37)	48(37)	49(40)	50(44)
超重症児者数		9(7)	10(8)	10(8)	10(8)	10(9)	10(9)
準超重症児者数		12(11)	11(11)	11(11)	11(11)	11(11)	12(11)
呼吸管理		13(11)	14(13)	14(12)	14(12)	14(13)	14(13)
人工呼吸器		7(6)	8(7)	8(7)	8(7)	8(7)	8(7)
気管切開のみ		6(5)	6(6)	6(5)	6(5)	6(6)	6(6)
経管栄養		32(26)	32(27)	32(27)	32(27)	32(29)	33(31)
学校教育		6(3)	6(3)	6(3)	6(3)	6(4)	6(4)
訪問教育		4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(3)	4(3)
通学		2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)
措置入所者数		1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(1)

\*カッコ内は昨年同月

\*昨年4月は新職員の配置などの事情により利用抑制を行った。

## ② 他病院受診件数及び入院の実績

年 度	耳鼻科	眼科	内科	皮膚	小児	整形	外科	泌尿器	その他	合計	入院日数	入院件数
28	24	8	19	30	13	7	0	0	27	128	441	30
29	30	0	11	40	14	17	7	28	25	144	269	21

\*入院が複数月にわたる場合は月ごとに1件として算出。入院日数は入院日、退院日共に算入。

平成30年3月末時点で長期入所者に超・準超重症児者の占める割合は38%（30%以上が7:1看護体制の要件）、呼吸管理の利用者が14名（長期入所者の24.1%）である。

## ③ 利用者の生活の充実

5月には昨年に引き続きウェルネスガーデンを会場とした祭りを開催した。ウェルネスガーデンを所管する市健康福祉局健康増進課との共同開催となり、「ティンクルなごやウェルネスガーデンまつり」と改称した。昨年に引き続き、保護者会、守る会やボランティアなどの協力をいただき、周辺4学区への回覧、参加呼びかけも行った。また、今回は関連する障害福祉サービス事業所の協力も得ることが出来た。

11月には、ハロウィンパーティーを開催した。

上記のほか、ボランティアによる音楽会を実施したほか、フロアでは季節イベントを積極的に実施した。

また、2階では学齢グループを対象とした「ティンクルクラブ」も引き続き活動を行うなどフロア単位での外出、個別療育を実施した。

就学児童は4名、うち1名を施設の送迎によって名古屋特別支援学校への通学を実現した。訪問教育対象者の校外活動や生活発表会などには家族同伴で参加し、施設も支援した。

## ④ 保護者会との協力

今年度もたくさんの保護者が継続的な面会をされた。こうした保護者の方たちの施設への関与はティンクルの財産であると評価している。

家族の面会状況（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
合計	648	730	657	738	667	703	712	600	640	643	619	691	648
平均	21.6	23.5	21.9	23.8	21.5	23.4	23	20	20.6	20.7	22.1	22.3	21.6
最大	29	49	32	33	31	44	45	31	41	31	29	51	29
最少	11	16	10	18	10	15	15	14	13	13	14	10	11

\*面会者の中には短期入所利用者家族も含まれる。

隔月1回の定例会を開催した保護者会には施設からは担当者が継続的に参加し、それ以外にも必要に応じて各部門の責任者が参加し、説明と意見交換の場として大切にしてきた。

定例会以外にも全体行事やフロアごとのイベントなどに多くの参加をいただき一緒に楽しむことが出来た。

2周年記念行事では模擬店の出店をしていただいた。

#### 4 短期入所

年度後半は10床を稼働することが出来た。ただし、短期入所利用者のニーズの多様さに対応するため、多く箇所で利用マニュアルの見直しを行った。

個々の方の重症状態が様々であるなかで、長期入所と頻繁に入れ変わる短期入所の業務が大幅に異なることによる繁忙さが様々な要望や苦情の要因になっていることから、いかに円滑に対応するかが課題となつた。

##### ① 短期入所実績一覧

###### (1) 短期入所の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
短期 入所	延利用者数	162(50)	130(148)	161(137)	169(150)	206(144)	177(132)
	申込数	207	202	184	194	231(173)	252(154)
	受付数	178	164	172	178(167)	211(165)	226(146)
	キャンセル数	16	34	11	9(17)	5(21)	49(14)
	超重症児者	10	22(9)	10(18)	20(15)	23(24)	18(16)
	準超重症児者	13(4)	9(28)	21(14)	27(28)	37(21)	37(9)
	実利用者数	54(17)	47(60)	51(59)	58(56)	71(53)	57(51)
	超重症児者	2	5(6)	3(7)	4(5)	6(5)	2(5)
	準超重症児者	6(2)	5(9)	7(6)	8(10)	11(8)	12(4)
	呼吸管理	4(1)	6(10)	7(10)	7(10)	12(9)	6(7)
	人工呼吸器	2	4(6)	3(7)	4(6)	7(4)	2(5)
	気管切開のみ	2(1)	2(4)	4(3)	3(4)	5(5)	4(2)
	経管栄養	14(6)	17(24)	18(21)	17(20)	25(22)	20(16)
	利用件数	56(18)	52(66)	57(67)	63(62)	75(57)	63(57)
	超重症児者	2	5(6)	3(7)	5(6)	6(6)	2(5)
	準超重症児者	6(3)	5(11)	7(7)	8(12)	12(9)	14(4)
	契約者数	198(146)	201(146)	206(153)	210(168)	212(170)	216(174)
1日の利用者数		5.4	4.2	5.4	5.5	6.7	5.9

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期 入所	延利用者数	211(153)	224(158)	212(135)	203(105)	191(107)	208(158)
	申込数	245(178)	278(197)	239(191)	234(142)	235(146)	256(164)
	受付数	242(155)	267(180)	239(174)	233(132)	228(122)	244(188)
	キャンセル数	24(2)	43(22)	27(39)	30(27)	37(15)	36(30)
	超重症児者	10(11)	15(18)	18(14)	6(7)	11(12)	9(12)
	準超重症児者	29(19)	40(16)	33(8)	43(7)	35(12)	34(21)
	実利用者数	73(51)	71(61)	69(49)	65(44)	62(43)	68(61)
	超重症児者	4(3)	2(5)	2(5)	3(1)	2(3)	2(3)
	準超重症児者	10(6)	11(7)	9(5)	10(4)	9(7)	10(9)
	呼吸管理	10(7)	9(7)	7(7)	9(4)	7(6)	7(8)
	人工呼吸器	5(2)	2(3)	3(4)	3(1)	3(3)	3(3)
	気管切開のみ	5(5)	7(4)	4(3)	6(3)	4(3)	4(5)
	経管栄養	23(16)	25(17)	22(14)	23(10)	21(13)	22(19)
	利用件数	78(58)	75(66)	74(54)	68(48)	66(49)	77(65)
	超重症児者	4(3)	3(5)	2(5)	3(1)	3(3)	3(3)
	準超重症児者	11(8)	12(8)	11(5)	11(4)	10(7)	12(9)
	契約者数	220(175)	223(176)	228(182)	232(183)	234(191)	237(193)
1日の利用者数		6.8	7.5	6.8	6.6	6.8	6.7

\*カッコ内は昨年同月

\*昨年4月は新職員の配置などの事情により利用抑制を行った。

## 5 利用者満足度調査

### ①長期入所アンケート

実施時期 平成29年9月15日～10月31日  
 実施方法 9月15日に各家庭に発送→郵送または事務室にて回収  
 回答者数 30家庭 回収率 30/52=57.7%

	良い	まあまあ	ふつう	悪いや	悪い	ないわから	無回答
合計	641	485	215	32	18	253	156
評価者の回答の割合	46.1%	34.9%	15.5%	2.3%	1.3%		
(参考)28年度の長期入所者の評価と割合	609	407	272	34	7		
※回答者数30、設問数53	45.8%	30.6%	20.5%	2.6%			

\*1評価者数=わからない・無回答以外の数

### ②短期入所アンケート

実施時期 平成29年9～10月  
 実施対象 短期入所利用者（長期間利用のない人や入所した人を除く）  
 回答者数 76人 回収率 76/179=42.5%（回答者のうち7割が記名回答）  
 実施方法 郵送

上記のアンケート調査結果は別紙のとおり

## 6 ネットワーク構築を目指した取り組み

### ① 会議参加、研修の実施

- 愛知県重症心身障害児者療育ネットワーク会議、同看護責任者会議、実務者会議（相談支援担当）、同実務者会議（栄養部門担当者）に院長、療育部長、各担当者が出席した。
- 市内で重症心身障害児者支援に関わっている方や当施設職員の研鑽の場として、また今後支援に取り組もうとされている方々に理解を深めていただく機会として、12月9日にベルデ堺センター長児玉和夫先生を講師に、「重症心身障害者の暮らしと活動の支援～一人ひとりの生活を支える～」をテーマの研修会を開催した。131名の参加があった。半数の65名が重症心身障害児者施設職員であった。  
 同様に、朝日大学教授玄(げん)先生を講師にして、「重症児・者の口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション」をテーマに研修会を開催した。56名が参加した。
- 昨年度に引き続き、愛知県身体障害者施設協議会の依頼による介護職のたん吸引等の実地研修を受け入れた。入所利用者とご家族の協力で実施できた。

### ② 障害者基幹相談支援センター及び相談支援事業所、地域療育センターなどの連携

ティンクルなごや入所希望者の把握を主たる目的として、市内16区の障害者基幹相談支援センターに入所相談調査と聞き取りを4月から8月にかけて行った。

基幹相談支援センター（以下基幹とする）が把握している事例は全市で23名。このうち短期入所利用または相談中の方が11名、非該当者が3名、該当かどうかが判

断の付きかねる方が 5 名、当施設の支援が必要と思われるような重症心身障害者は 4 名であった。この方々の当施設利用への働きかけを基幹や相談支援事業所と取り組んだ。

一方で、各相談支援事業所から短期入所や長期入所に関連しての意見や要望が上がっていて、日中活動の不十分さや発熱時の対応、利用しづらさなどがあげられていた。また、たん吸引の三号研修実習先として受託枠を広げてほしいという希望があげられていた。

さらに9月以降、中央療育センターと 3ヶ所の地域療育センター、各区内の自立支援協議会相談支援部会への聞き取りを行った。自立支援協議会相談支援部会に参加していた相談支援事業所が支援している重症児者の半数ほどはティンクルなごやの入所、短期入所につながっていることも明らかになった。また年度内に短期入所で 4 名の新規登録があった。

このような取り組みは、利用者家族や区内相談支援事業所相談支援専門員への「ティンクルなごやの説明会」や、相談支援部会としてティンクルなごやの見学につながった。また、ティンクルなごや職員が療育センターでの重症心身障害児の日中活動を知る機会も作れた。

## 7 事故防止と苦情解決

名古屋市への事故報告は 5 件

感染症の疑い 3 件：原因不明の呼吸器感染症 2 件（罹患者各 6 名）、インフルエンザ 1 件（罹患者 2 名）

骨折 1 件：原因不明、関節拘縮強く骨折リスクの高い利用者、苦痛表情、幹部の膨張、発熱により検査の結果左脛骨骨幹部骨折を確認。幹部固定、シップにより治療。

転落 1 件：脱衣室内ストレッチャー上の更衣介助中に転落、顔面打撲、眼瞼周囲皮下出血を認めたが医療機関での精密検査では異常所見は確認されなかった。その後の定期通院でも特記すべき所見はなかった。医療安全委員会にて RCA 分析を実施し、再発防止に向けた対応策を実施した。

苦情解決 8 件

- ・入院中の医療処置への不満：可能な限り要望に対応する事を約束
- ・利用料に関する説明不足：謝罪し、重要事項説明書等の修正を行う。
- ・短期入所中の体調不良による退所、短期入所の体調不良による中断、その際治療行為を行わないこと：短期入所制度の説明、持参薬による対応を明確化
- ・短期入所の際下半身に何もつけない状態で掛物だけが掛けられていた：再発防止を約束
- ・他病院入院時の面会依頼：説明不十分を謝罪
- ・短期入所中の傷への処置を行わなかったこと：説明不足を謝罪、必要な処置用品の持参を依頼
- ・短期入所利用者に対する処置に対する苦情：第三者委員の介入希望、カルテ開示の申し出により、引き続き対応している。
- ・虐待通報：施設内で特定の職員により虐待を疑われる介助が行われているという通報が区役所に行われた：内部調査の結果、身体的虐待はなかったと結論した。名古屋市の所管局の調査を受けて、結果報告は翌年度 5 月にあり虐待行為は見いだせなかつたが、マニュアルに即した支援等を徹底するよう通知があった。





平成29年度利用者満足度調査  
個別のご意見へのお答え

療育部(看護師・生活支援員)	施設からの回答
日々の様子	日常生活の状況がパソコンの管理、看護師などの頭脳で行われても何がどう実施されているのか、わかりにくい、もう少しわかるとよいと思う。
日々の様子	対応の仕方がみえないから評価が不能である。
支援の統一	職員さんに個人差があつてお願いした事が出来ないことがあります。
支援の統一	利用者には、平等に接しもっと声かけをして欲しい。 要望を伝えても全員に伝わっていないことがあります。
支援の統一	昼間はできるだけ「声かけ」を励行して欲しいです。
職員の態度	感じのすごく悪い看護師さんもいます。上から目線でものを言 い腹が立ちました。
職員の態度	もう少し1人1人ていねいに気持ち良く愛情注ぐようにかんばつ てほしい。
職員の態度	1人1人の幸せを思い接してほしいです。
職員の態度	いつも良くして頂いていますので嬉しく思っています。が時々忘 れられているのかな、と思う事もあります。
健康・清潔	夜間の酸素マスクの皮膚の接触部の不具合が放置されてい た。
健康・清潔	家では座って過ごしていたが、いつ伺っても座っている姿を見た ことがない。筋肉が弱ってしまうのではと心配。食事も寝たままで座って食べさせているのは一度も見たことがない。
健康・清潔	衣類を着せる時にひっぱたら破れたと言われた。着替えの様 子を見たことがないので何とも言えないが、荒っぽいのではと心 配。
健康・清潔	髪質も悪いと思うが、髪の毛がいつも整っていない。

衣類の保管	一年中通して衣類を預かってほしい。	大変申し訳ございません。当施設ではお預かりはしておりません。季節に適した衣服を身につけていただきたいと思っております。新しいものやご本人のお気に入りになりそうな衣服を揃え、ご面会にいらした時に棚を整理していただきたいと考えております。
診察時の同行	病院の診察時に親が付き添うのは当然だと思うが、親の体調不良、高齢化など、負担になる時もあることを考えてほしい。	体調がお悪い時はご無理なさらずご相談ください。
朝食時の着替え	朝食時もパジャマのまま食べさせているのはかわいそう。	基本的には着替えてから食事をしていただいております。ただし、入浴日や食事中に食べこぼしが多い方はパジャマのまま食事をしていただく場合もございますのでご不明の際は職員にお気軽に尋ねください。
食事介助	手がかかるからという理由で、食事介助がいつも後回しにされて待たされていると思う。平等ではないと思う。	不安なお気持ちにさせてしまい大変申し訳ございませんでした。ただ、食事介助は危険が伴う場合がございます。安全第一で介助するために順番を決めさせていただくことがあります。
職員体制	看護師さんがよくかわりすぎだと思います。	病棟内的人事異動は様々な理由がございます。ご迷惑おかけいたしますがご理解ください。
職員体制	生活支援員の支援の人数が少ないため十分な療育活動ができないと思う、増員と共に質を上げてもらいたい。	
職員体制	人数が足りなくて、いつも忙しそうのに見えます。 個々のスタッフみなさんとでも一生けんめいやって下さっているので、なんとかしてあげたいです。	ご指摘につきましては改善に向けて十分の検討を致します。
リハビリ		施設からの回答
実施計画	リハビリの実施計画書が進捗具合が把握しにくい。	計画書の書式、お渡しの方法等を再検討し、わかりやすい工夫します。
回数	リハビリを週に2回以上出来るようにやってほしい。	現在理学療法士2名(常勤、非常勤各1名)で、おおむね週1回実施しています。理学療法のほか、車いすや装具、リフトに関する業務もあり、回数を増やすために増員の努力をしているところです。作業療法士は常勤1名です。当面増員の予定はありません。言語聴覚士は現在募集集中です。
回数、体制	もう少し回数が増えたら良いと思います。 療法士さんの増員をお願いしたいです。	
見学の機会	自分が行った折、一度だけ見学しました。またいろいろな機会を作っていただけたら良いなあと思ってます。	各スタッフステーションに訓練予定表がありますので、病棟職員にお問い合わせください。ご見学いただけます。ただし、事情により予定が変更になることがありますのでご理解ください。
その他	現在のリハビリについては、期待できない。	ご期待に添えず申し訳ありません。ご要望をお聞かせください。検討させていただきます。

薬剤師		施設からの回答
関わり	直接お会いすることがなくわからないです。	薬に関するご質問がありましたら、その旨医師、病棟スタッフにお伝えください。後日、こちらからご説明いたします。
関わり	直接かかわりがないのでわかりないです。	
関わり	薬剤師さんから説明を受けた事がないでわかりません。	
医師		施設からの回答
診察、健康管理	先生の診察は、毎日ありますか。	平日は複数の医師が勤務しておりますので、できるだけ毎日の診察を心がけています。
診察、健康管理	健康管理大変だけど1人1人大事にしてほしいです。	お一人お一人の事を大切に考えて、健康管理に努めています。
診察、健康管理	数値だけで判断しないで患者の表情や状態をよく観察してほしい。	患者様の状態を、必ずベッドサイドで確認しております。
面談の機会	なかなか面談する様な機会はありませんが、たまにはどんな状態であるか聞いてみたいです。	いつでも仰ってくだされば、お話しさせていただきます。面談の予約をさせていただけますと、準備できますので助かります。
栄養・給食		施設からの回答
食事の改善	今後も食べやすくおいしそうに見える物少しでも形ある物、工夫してほしいです。	現在は、肉は酵素に浸ける、野菜は長めに茹でるなど、柔らかくなるよう処理を行っています。また、一人一人の摂食嚥下機能に合わせた形態で食事を提供しています。今後も工夫をしてより良い食事を提供できるように努めていきたいと思います。
食事の改善	歯が少なく噛んで喰べる事できないのでできる限り柔らかな食事にしたい。	
経口摂取	何とか一口でも良いので口から食べられるように訓練できないでしょうか。	食事の内容、提供の方法については、お一人お一人の状態に合わせたものを選択しています。個別的具体的なお問い合わせは、お申し出いただければ医師との面談の機会をご用意いたします。
経口摂取	食事の経口摂取が望ましい。	
関わり	栄養士さんから説明を受けた事がないでわかりません。	平日昼食時に病棟を回っています。その他の時間は事務所に居りますのでお気軽にお声掛けください。
関わり	直接かかわりがないのでわかりないです。	
関わり	患者の状態をよく観察してほしい。	昼食時のラウンド、毎月のNSTで皆様の栄養・食事状況を見ていますが、今後は更に機会を増やしていきたいです。
事務		施設からの回答
職員の対応	案内とかスムーズに対応出来るようにしてほしい。	受付でのご案内や手続きがスムーズに行えるよう、事務職員同士、他部署との情報共有に努めてまいります。

施設設備	施設からの回答	
面会場所	面会に来た時に家族だけですごせる場所スペースがあるといいです。	家族宿泊室は、宿泊者や短期入所のお試し利用の方のご希望がない日につきましては、休憩等にご利用いただけます。空室でも利用予約が入っていないかを確認するため、お手数ですが職員に声をかけてからご利用いただたいと存じます。 1階の家族交流室は保護者会の会合等で使用されている時以外は自由にご利用いただけます。 また、1階交流ホール、2階の薬剤室前のスペースもご自由にご利用ください。
居室	個室希望だったが大部屋に変更になった。個室と大部屋は料金は同じなのか。個室のままの人はどういうことか。	部屋割りにつきましては、利用者さんの状況を考慮しながら調整させていただいております。料金につきましては同一とさせていただいておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。
居室	居室の物入れロッカーが少ないと思う。	ロッカー増設等は早々には難しいことですが、今後もご家族のみなさまやプロアスタッフの意見を聴きながら居室空間の改善に努めてまいりたいと存じます。
敷地の管理	施設内は何も云う事ないけど周辺の雑草が気になる。	施設周辺の除草につきましては、ウエルネスガーデン等の周辺敷地全体を管理している名古屋市が業者委託により対応しています。
敷地の管理	広い敷地で今の時期守る事(管理)大変ですね。 年々手に追えなくなります。施設の皆様も困っている事でしょう。	ティンクルなごや付近の除草につきましては、ボランティア募集も行っているところです。日頃からご協力いただいている方もいらっしゃり、大変ありがとうございます。感謝申し上げます。
その他	施設からの回答	
調査結果等の活用	調査結果のまとめとして要望、改善をどの様に対策を考えているのか報告をして欲しい。 前回の調査では満足、ほぼ満足の様ですが、やや不満、悪い点改善しなければ子供達にとって過ごしやすい、ティンクルにならないと思います。	今回のアンケートにつきましては、前回と同様、各部署に報告し、このように各部署からの回答をとりまとめました。アンケート以外の方法でも、職員に直接お話しいただいたり、ご意見箱に投書していただくなど、今後とも忌憚のないご意見や質問をお寄せいただきたいと存じます。
調査結果等の活用	先般要望書を提出させていただきましたので その中で情報を共有していただき「やれること」から少しでもよいのでとり組んでいただければ…と思っています。	
調査結果等の活用	アンケート内容とは違いますが、先日水野部長さんから旭川荘での研修の報告がありとても興味深いものでした。 たとえばウレタンマットの作成などです。ティンクルでもぜひ取り入れてもらいたいです。	部長はじめ複数の職員が研修に参加させていただいております。職員が他の施設や研修で学んできたことについて情報共有をすすめ、改善につなげてまいりたいと存じます。
西部医療センターとの連携	西部医療センターともっと連携がとれるといいかなと思います。	隣接する医療機関として、今後も連携に努めてまいりたいと存じます。

平成29年度

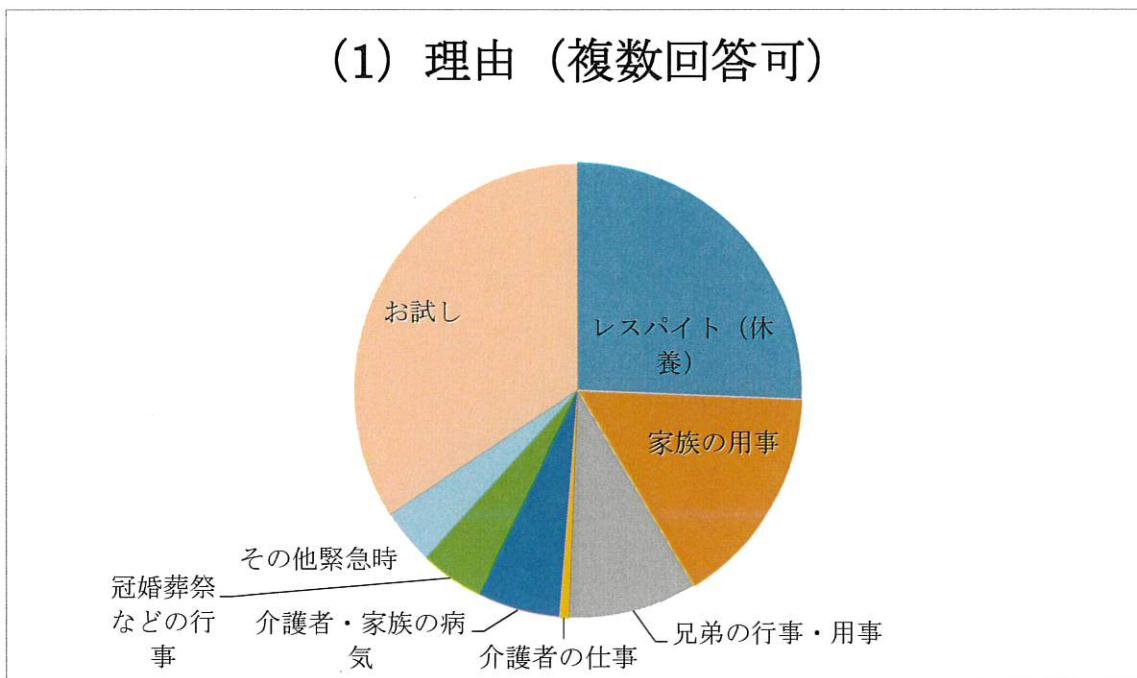
短期入所利用者満足度調査結果のまとめ

H30.4

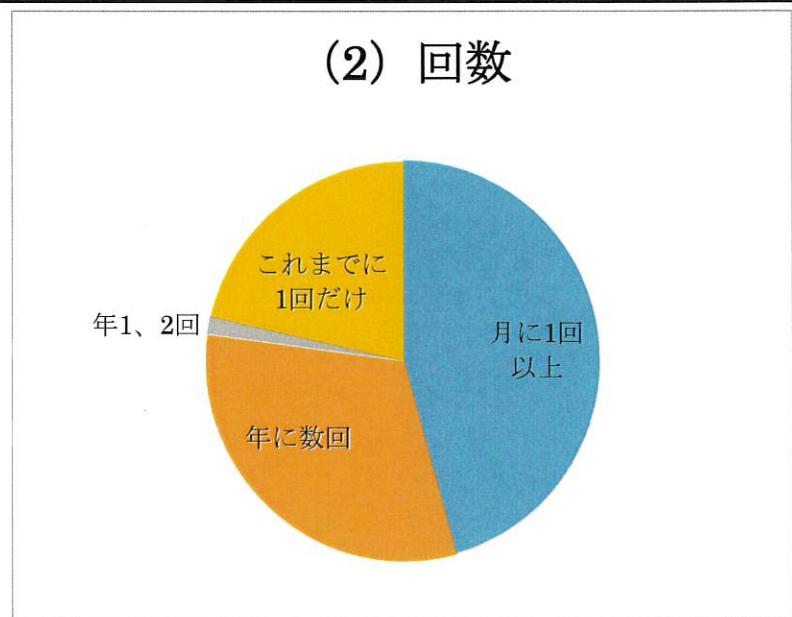
## 短期入所アンケート結果 I 選択記入欄

1. これまでに、どんな理由で、どれくらい、短期入所をご利用されましたか？

### (1) 理由（複数回答可）



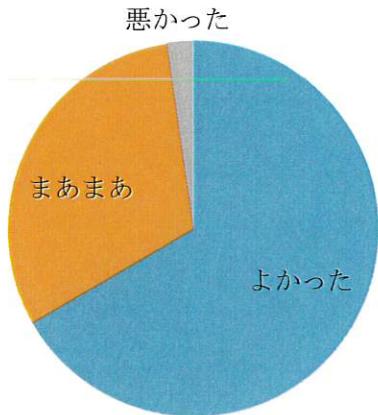
### (2) 回数



項目	数	個別意見
月に1回以上	32	入れない月もあり 2月に一度 今までに2回
年に数回	22	
年1、2回	14	
これまでに1回だけ	15	

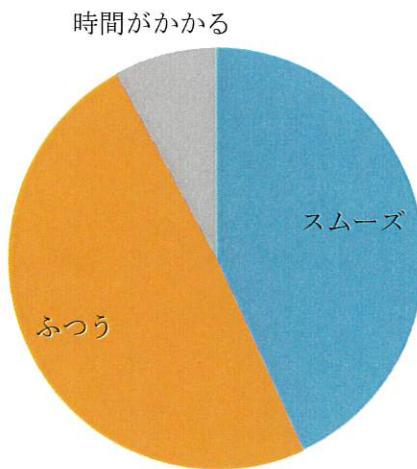
2. ご利用されて、どのように思われましたか。

### (1) 職員の対応



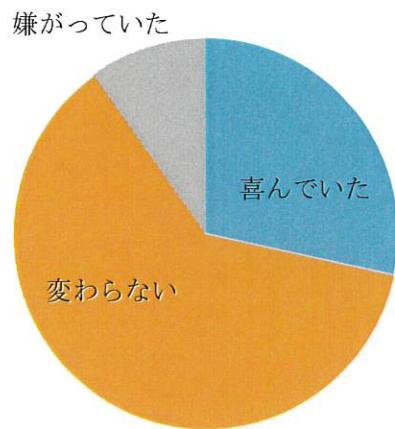
項目	数	個別意見
よかったです	58	入所直後検温、平熱も聞かず微熱があると追い返す勢い あいさつしない方も見える
まあまあ	27	
悪かったです	2	緊急時の相談

### (2) 受け入れや引き取り時の手続き

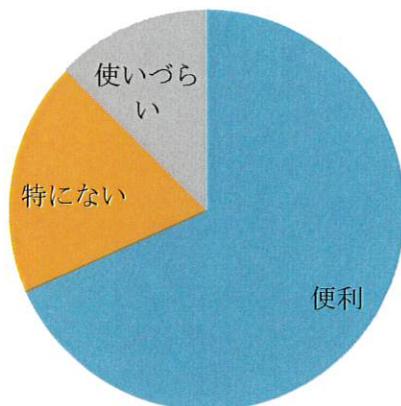


項目	数	個別意見
スムーズ	38	どこまで引継ぎされているか疑問に思うことがあり
ふつう	43	カルテ確認がないのか同じことを聞かれ答えた
時間がかかる	7	受入時、毎回同じ事を説明している、いつ終了したかわかりにくい

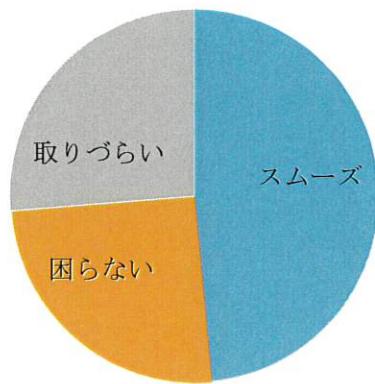
### (3) 本人たちの様子



### (4) 家族としての気持ち

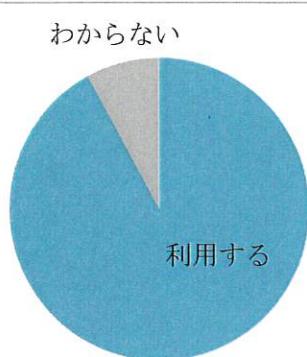


## (5) 予約などの連絡



項目	数	個別意見
スムーズ	48	希望した日に取れない・変更がよくある
困らない	25	2か月前の予定が立てにくい、結果を早く知りたい
取りづらい	6	希望日に職員不足で断られる、夏休みなど希望日が取れない

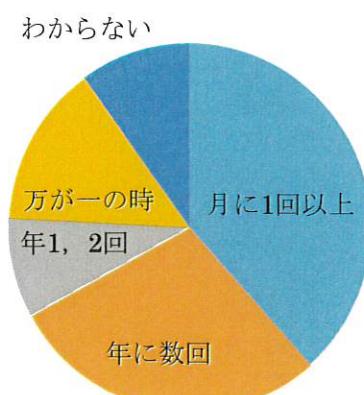
3.今後も当施設の短期入所を利用する予定はございますか。



項目	数
利用する	81
利用しない	0
わからない	7

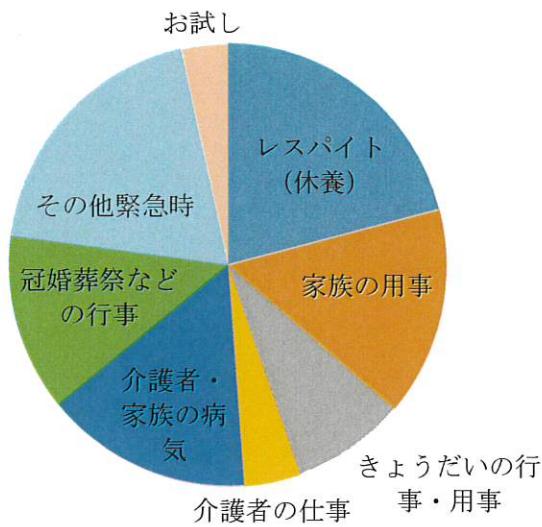
4. 3で①利用するとお答えされた方におたずねします。

## (1) 今後の利用見込み【頻度】



項目	数
月に1回以上	35
年に数回	26
年1, 2回	8
万が一の時	13
わからない	9

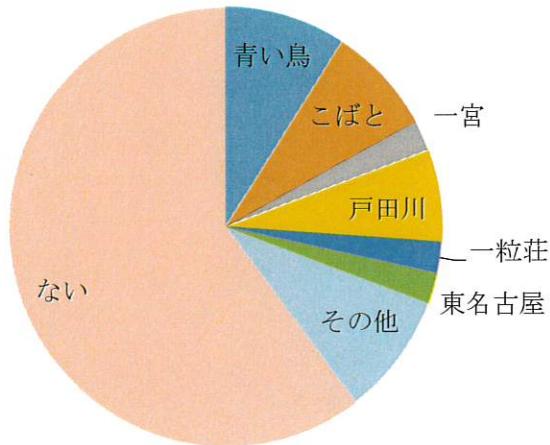
## (2) 今後の利用見込み【理由】



項目	数	項目	数
レスパイト(休養)	55	介護者・家族の病気	40
家族の用事	40	冠婚葬祭などの行事	34
きょうだいの行事・用事	22	その他緊急時	51
介護者の仕事	11	お試し	9

5. 現在、他の施設の短期入所をご利用ですか？

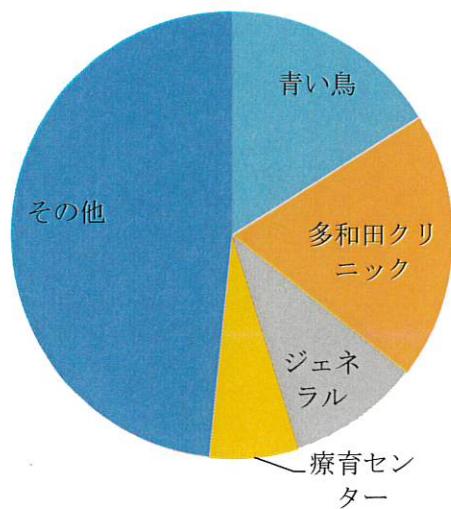
### 他の施設の短期入所をご利用ですか？



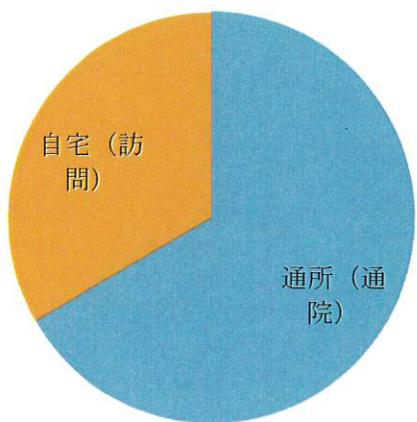
項目	数	項目	数
青い鳥	8	一粒荘	2
こばと	7	東名古屋	2
一宮	2	その他	8か所(各 1)
戸田川	6	ない	53

6. 18歳以上の方についてお尋ねします。現在、定期的に機能訓練は行っていますか。

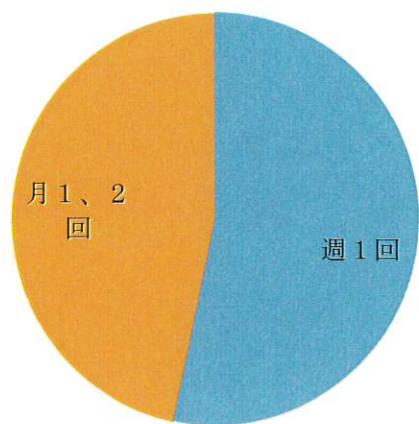
訓練機関名



訓練方法



頻度



区分	個別意見	回答
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任意とはいえる記名を求められるとあまりアンケートの意味はないのではと感じました。</li> </ul>	<p>記名を求めるという印象を与えてしまったのであればお詫びします。記名いただいた方についてはご意見に対して個別に対応させていただいている場合もあります。</p>
おやつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何度かアンケートに答えていますがそれに伴う 利用者の方からの意見や希望等から、今後の改善や方針のアンケート結果を何らかの形でお聞きしたいです。</li> </ul>	<p>大変遅くなりましたが、こうした形で回答させていただきます。</p>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おやつの時間か食事の時にデザートなどがあると喜ぶと思います</li> <li>・おやつや差し入れが多少の制限があっても、できる様になれたらと思います。</li> </ul>	<p>栄養バランスを考え、食事メニューにデザート類を入れるようにしたり、おやつの日を設けるようにしていますが、今後も工夫していきます。</p>
関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事形態が普通食の下に おかゆ×粗きざみ の段階があるとうれしいです。</li> <li>・自分の身体を動かす事ができないので、介助する側が気配りをして少しづつ触れてもらうとかがあると本人のゆったりした時の様子、つらい時の様子等、理解してもらえると思いますが…</li> </ul>	<p>食事や水分の補給のために普段提供しているものがあるようでしたらご相談ください。</p>
職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さん職員さんが笑顔のたえない明るい施設を希望します。職員さんとの信頼関係が一番大切だと思っています。</li> </ul>	<p>当施設の食事形態では、一口大または刻みに該当します。次回短期入所の際に担当者にご相談ください。</p>
引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ引き取り時、以前は同じ担当の方にお話をうかがえたと記憶していたのですが今回は別の方で入所の際にお話したことが伝わっているのか、滞在中の様子など退所の際にあまりうかがうことができず少し心配、不安を感じました。</li> <li>・担当されている方の引継ぎの行い方とかを知りたいです。</li> </ul>	<p>入所施設のため職員は交代勤務をしています。勤務の都合上同じ職員が対応できない場合が多くなることはご理解ください。 引継ぎは、「短期利用者情報シート」、「電子カルテ上の各種の記録」「口頭での申し込み送り」によって伝達を行っています。</p>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の冷房の設定が25℃で、動かず下の位置にいる子にとって すごく寒いと 思いました。</li> </ul>	<p>体温調節の困難な方が多いので、温度管理には十分気を付けたいと思います。暑がりの人もいるので、そうでない人には掛物などで対応することとします。</p>
業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投薬の徹底管理をお願いします。</li> </ul>	<p>ミスを繰り返さないよう十分注意します。</p>
日中活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の声が好きなので声がきけるとうれしいです。</li> <li>・友達がいたり子供同士で楽しめたらいいと思います。</li> <li>・1人でテレビを見ている姿を見ると少々可哀想になります。</li> <li>・日中の活動がもう少し自由にできると(ヘルパーさんが入ったり外へ出かけたり)いいと思いますが制度上できないんですね？</li> <li>・日中通所施設に可能(送迎はこちらでしても)行くことができたらと思います。</li> </ul>	<p>体調が良ければできるだけデイルームで過ごすよう心がけます。 声を掛け合える方は多くありませんが、仕事がらみではあっても職員同士の会話も楽しみの一つになるかもしれません。</p> <p>制度としては、短期入所中に移動支援や日中通所施設を利用することは可能ですが。詳細は職員にお問い合わせ願います。</p>

日中活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティンクル内での日中活動ももう少し活発になればうれしく思います。</li> <li>・広い訓練室やスヌーズルームなど利用したいけどできないのが残念。</li> <li>・部屋で過ごす事が多い様に聞いています。もう少し活動を取り入れてもらえないといいです。ちょっと退屈だそうです。</li> <li>・毎日活動があると楽しめると思います。</li> <li>・日中の活動を取り入れてほしいです。本人がメリハリのある生活を望んでいると思います。</li> <li>・カラオケ、音楽療法、散歩など何か楽しみがあるとうれしいです。</li> <li>・「待ち時間が長い、退屈すぎる」と言っています。</li> <li>・少しでも退屈しないように、楽しめるよう活動があると嬉しいです。</li> </ul>	<p>できるだけ長期入所利用者と同じ日課で過ごしていただくよう努めています。午後はほぼ毎日何らかの活動を行っています。(音楽や作品作り、レクレーションなど)</p> <p>普段の生活からすると「つまらない」と思われるかもしれません。普段、家で楽しんでいるものがお持ちいただくことができますので、ご相談ください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショート中に行事があった場合、家族が面会や参加できなくとも本人を参加できるようにサポートしていただけるだけならうれしいし、本人も喜びます。</li> </ul>	→ 施設内で行われる行事には参加していただいています。
入浴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴も利用出来たらと思います。</li> <li>・1泊2日でも入浴支援を実施してほしいです。</li> <li>・入浴が1泊2日でも入れることができたなら嬉しく思う。</li> </ul>	原則、週3回入浴できるようにしておりますが、土日がある場合や、日帰り、1泊2日の場合については入浴の対応ができませんのでお願いします。
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用中の様子や活動内容をもう少し詳しく教えてほしい</li> <li>・入所中の様子をもう少し詳しく教えてもらえたると…1日ごとの様子がわかるとうれしく思います。</li> <li>・中間サマリを再開してほしい。</li> </ul>	中間サマリは業務の効率化を検討する過程で簡略化させていただき「連絡票」に変更した経緯があります。 連絡票の記入内容にもばらつきがありますので、簡潔に、必要な情報を提供できるよう努めます。
予約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時用のスペースを確保していただけませんか？ 申し込みした以外で空いてる日があったらお願いたい時もあるのでネットでも良いので分かってたら便利です。</li> <li>・調整がどうなるかわからないのでこの日がダメならこの日でと希望を言えないが返事を待っている間不安です。</li> <li>・3ヶ月前からの予約は難しい。</li> </ul>	申し込みの際に第2希望の日程をお伝えいただければ、調整の際にそれを尊重することができます。申し込みが多いため、2か月前から予約受付しておりますので、ご理解をお願いいたします。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の時々理由を尋ねられるのでレスパイトで利用してはいけないのかと思っています。今後レスパイトで利用することは可能なのでしょうか。</li> <li>・今後については、家族介護者の病気や入院などの緊急時にすぐに預かってもらえるのか、その場合何日まで対応してもらえるかなど気になっています。</li> </ul>	レスパイトでの利用は可能です。予約で理由をお伺いするのは予約が重なった場合、調整する際に参考とします。 緊急の申し込みもできるだけ対応したいと思っていますが、満床などで対応ができない場合がありますのでご理解をお願いします。
土日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土・日・祝の受け入れも気軽に使いたい</li> <li>・土日に利用をしたい時にその前後の平日からとなると長い日数預けなくてはいけなくなるので、土日の入退所を可能にして欲しいと思います。</li> <li>・長い日数預けるのは心配(ストレスないか等)</li> </ul>	職員の体制もあり、基本的には平日からの入所をお願いしています。土日しか入所できないという事情の方は土日入所もお受けしています。ただし、お試しや初回の利用となる方については平日入所をお願いしているところです。

受入れ態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3時までということで仕事は時間休をとり早退し入所させている。出来ることなら平日ならば夕方(夕飯)までとか、時間に幅を持たせてほしい。どうしても時は、融通をきかせていただけるととても助かります。</li> <li>・受け入れ時間、退所時間を緩めて欲しい(仕事に行きやすい1日の遅刻でお迎え時間が15:30だととっても助かります。</li> <li>・退所時間が5時位だと助かります。</li> <li>・退所時間をもう少し遅くなるといい。17時とか。</li> </ul>	<p>利用者様の安全を考慮し、入退所時間を決めさせていただいております。どうしても、という時には担当者にご相談ください。</p> 
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替えの枚数が多くて支度するのが大変です。</li> <li>・服等多めにもって行きますがどうしても足りない時など、施設の物を借りれば良いかと思います。</li> <li>・料金制にしてもいいと思いますが。</li> <li>・連絡票ですが、基本的な所の毎回記入が必要なくなるとありがたいです。</li> </ul>	<p>私物の管理が煩雑になり、紛失等のトラブルを防止するため、利用中に必要な量をお持ちいただいています。 個々人の体形に合わせたものを用意することが困難ですので、衣類の準備は各自お願いいたします。</p>  <p>以前ご利用の状況と、今回の状況で、変化の有無を確認いただく意味もあり、ご記入頂いておりますので、お手数ですがご協力くださいようお願いいたします。</p>
送迎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き取りの際もBed to Bedで移送サービスをお願いしてあるので、タクシー事業者さんが施設に到着された時に部屋の方まで知らせて欲しかったです。</li> <li>・移動にはそんなに時間はかかりませんが、送迎があるともっと利用しやすくなります。</li> </ul>	<p>情報共有し早く連絡するよう努めます。施設による送迎は行っておりませんのでご理解をお願いいたします。</p> 
不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事がほとんど食べれない。</li> <li>・眠れない。帰宅後が大変。本人がなれるしかないのか…</li> <li>・何とか夜間もぐっすり眠れるように対策はないでしょうか！！</li> <li>・清潔でスタッフの方も優しくてとてもいいと思っていますが、なかなか本人が慣れないのが困っています</li> <li>・本人の様子として嫌がっているのかどうかわかりませんが、緊張が強いまま帰宅する事が多くて、体調を崩すまではないのですが、調子は悪い時もあります。</li> <li>・これは本人の問題なかもしれません家庭と施設の違いが自分で対応でき無いのか…</li> </ul>	<p>短期入所は、不慣れな場所でなじみのない人のケアを受けるというご本人にとって大変なストレスではないかと思います。少しでも軽減できるよう職員も関わりを心がけていますが、慣れるまではある程度の経験が必要かと思います。</p> <p>より早く慣れていただくための工夫については一緒に考えていきたいと思います。</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の事が心配です。スマホなどで子供の様子がわかるようにしていただければ安心してお願いができるので検討して頂きたいと思います。保育園、老人施設、ペットホテルなども導入しているので。</li> <li>・ネットワークカメラ</li> <li>・防犯</li> <li>・学校はとても好きで行くのが嬉しいくてたまらないのですが、ショートステイは駐車場に着くと泣き出します。</li> <li>・本人が楽しく生活できるよう、家族が安心して預けられるよう、これからもよろしくお願いします。</li> </ul>	<p>子供さんの状況をご心配される気持ちはわかります。親御さんに安心していただけるよう施設の職員がしっかり見ていきます。</p>  <p>楽しい生活支援ができるように一緒に考えていきたいと思います。</p> 